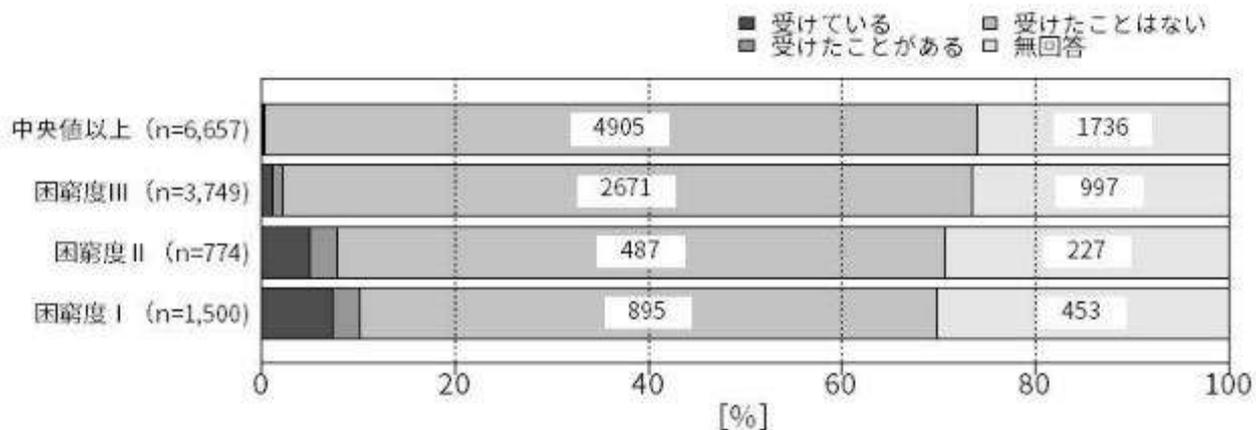


困窮度別に見た、生活保護（問 41-3-5）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

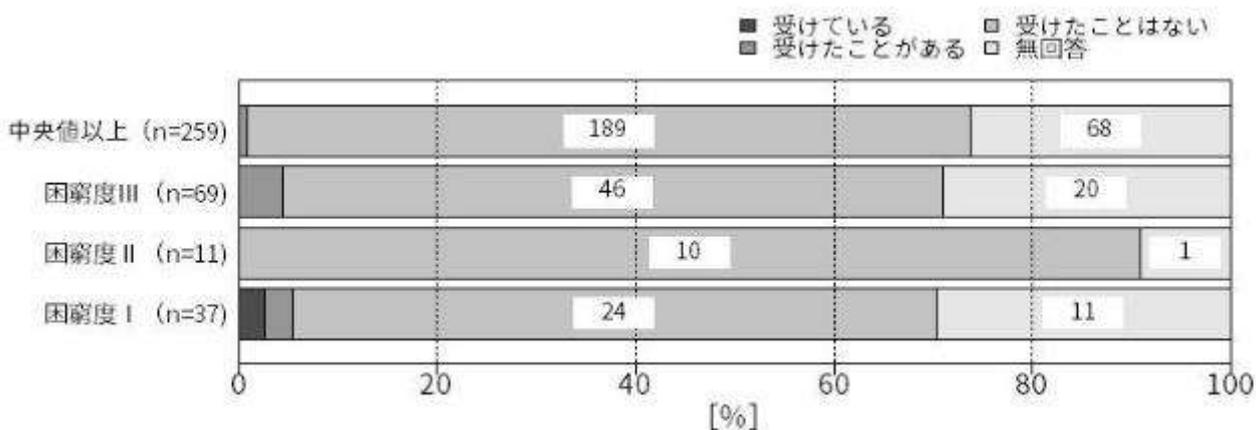


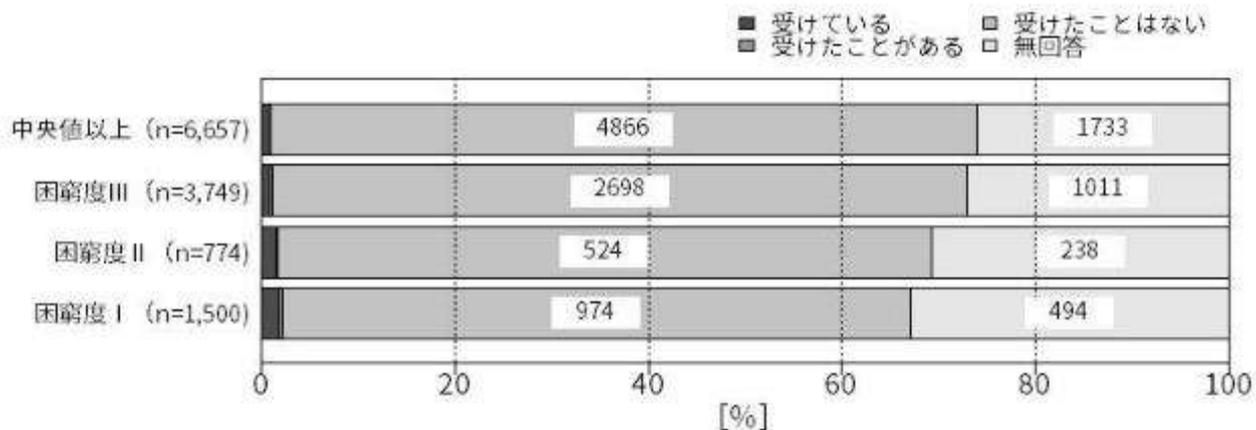
図 74. 困窮度別に見た、生活保護

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにつれて、受けているあるいは受けたことがある割合が増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては2.7%となった。いずれの群においても無回答が見られる。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（問 41-3-7）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

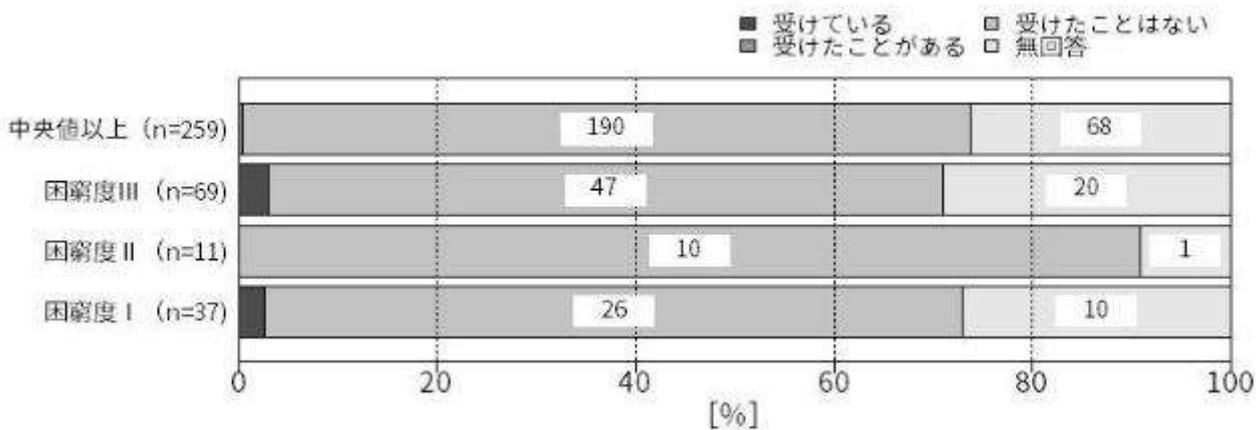


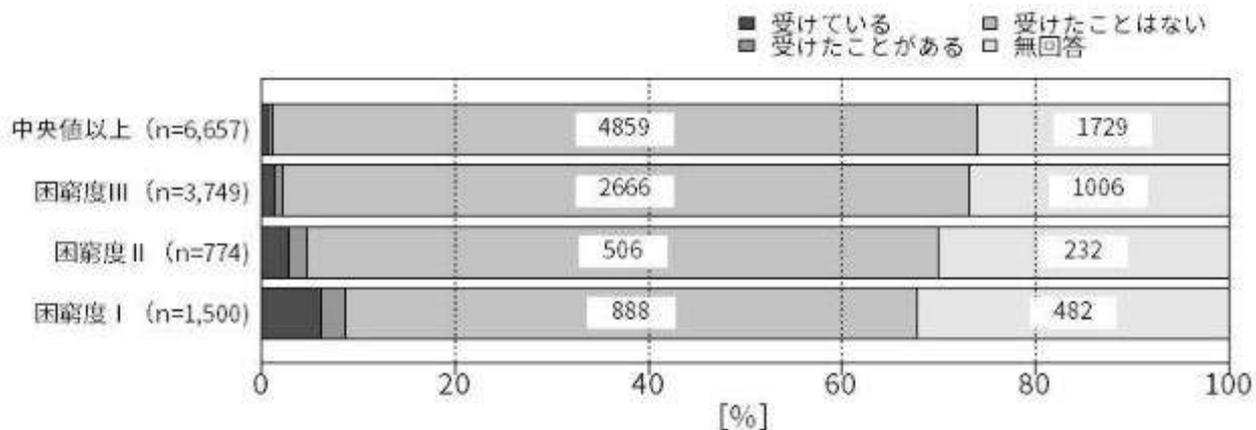
図 75. 困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰ群においては 2.7% となった。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

困窮度別に見た、養育費（問 42-3-9）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

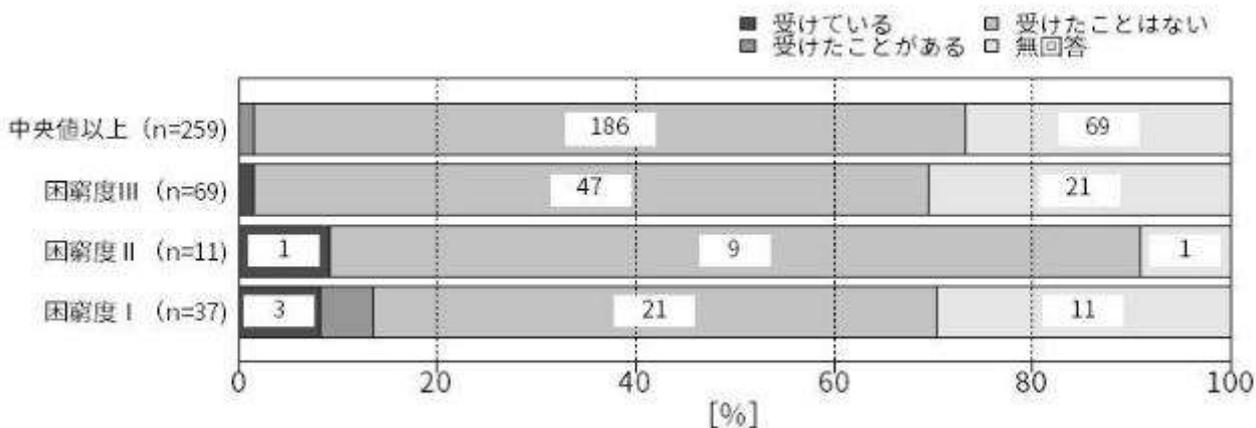


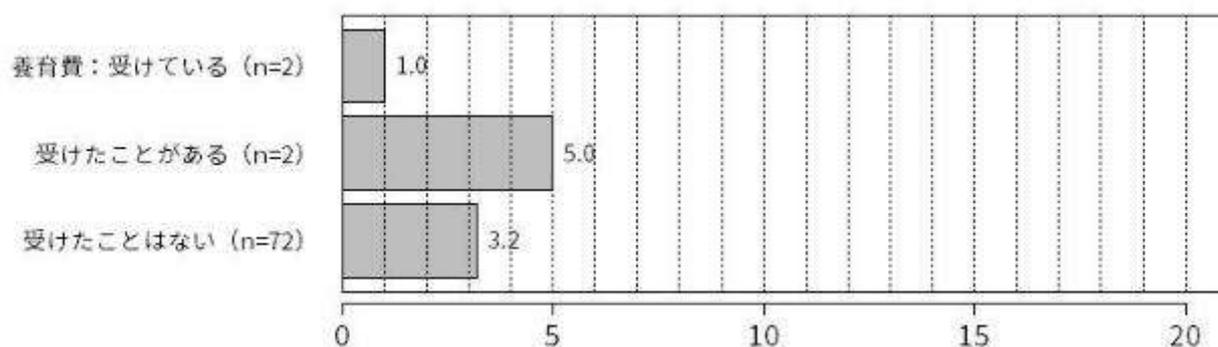
図 76. 困窮度別に見た、養育費

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにつれて、受けている割合がわずかながら増える傾向にあり、困窮度Ⅰでは、8.1%が受けていた。いずれの群においても無回答の割合が見られる。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

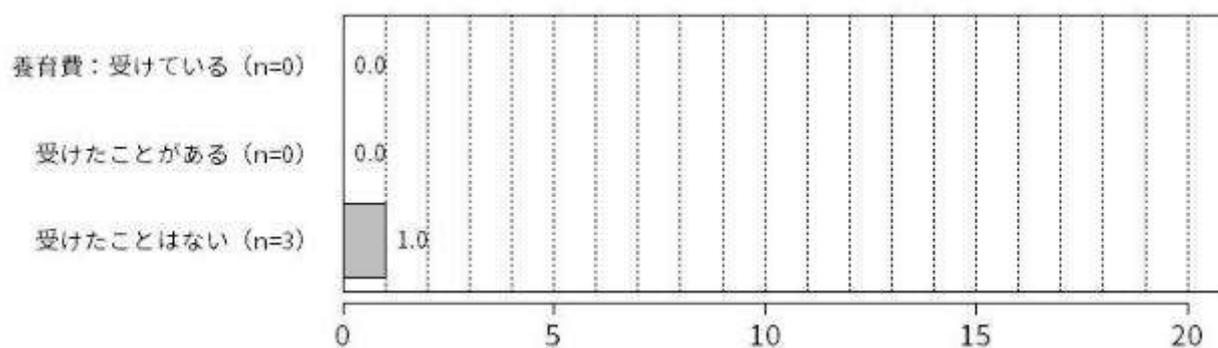
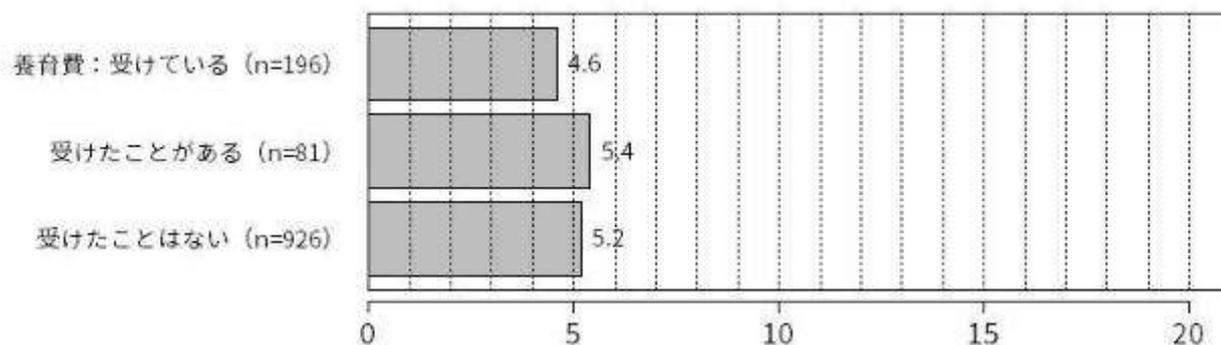


図 77. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均  
＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（問 30-3-9×問 6）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

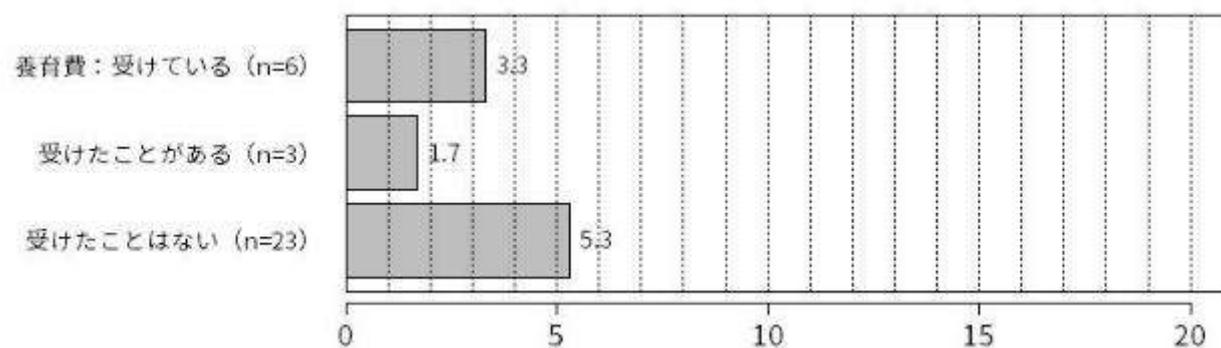
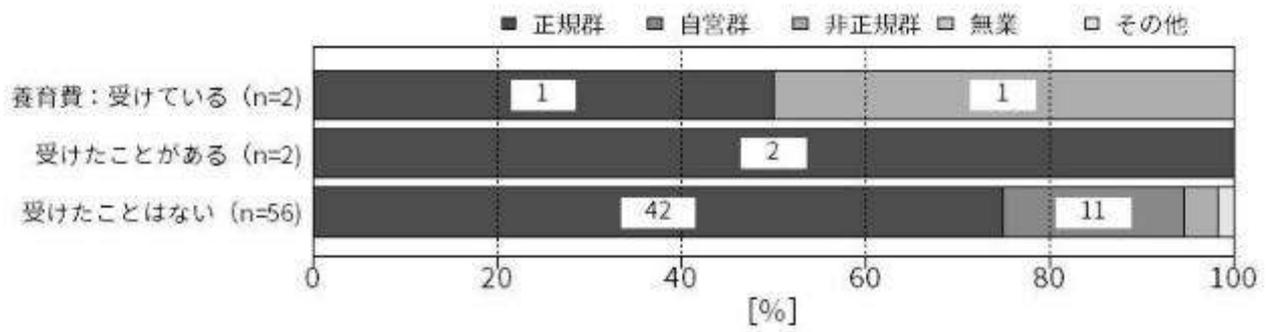


図 78. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均  
＜母子世帯＞

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

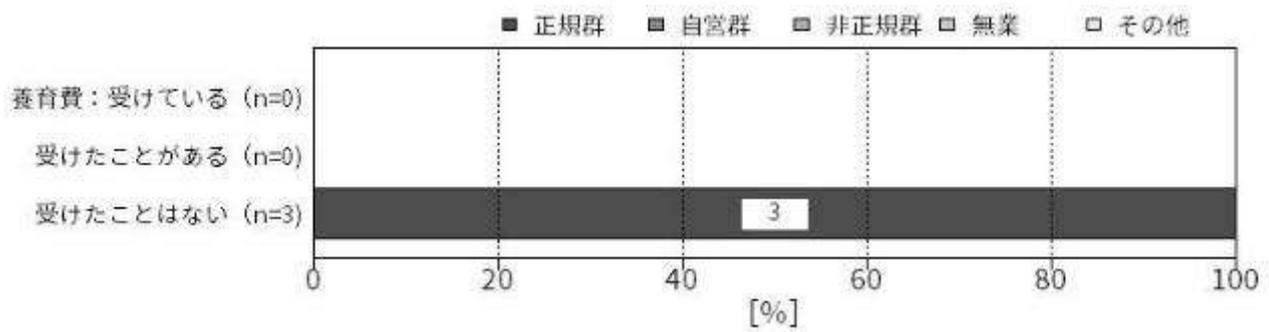
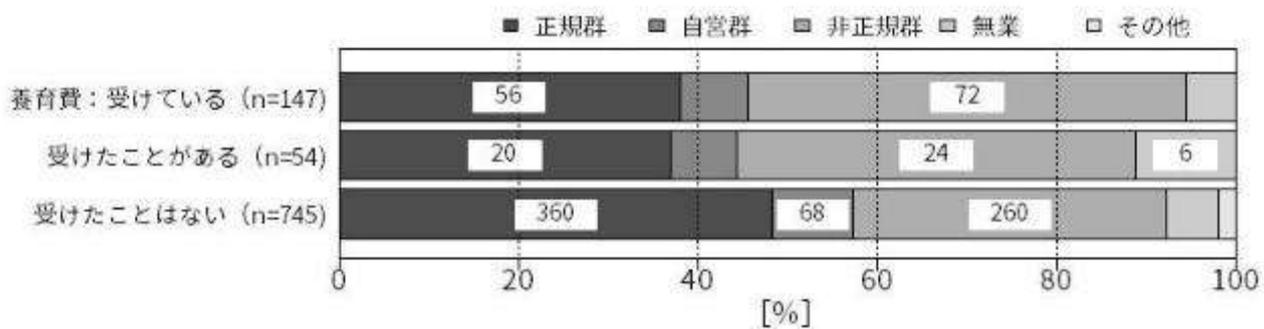


図 79. 養育費の受給別に見た、就労状況＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、就労状況（問 30-3-9×問 8）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

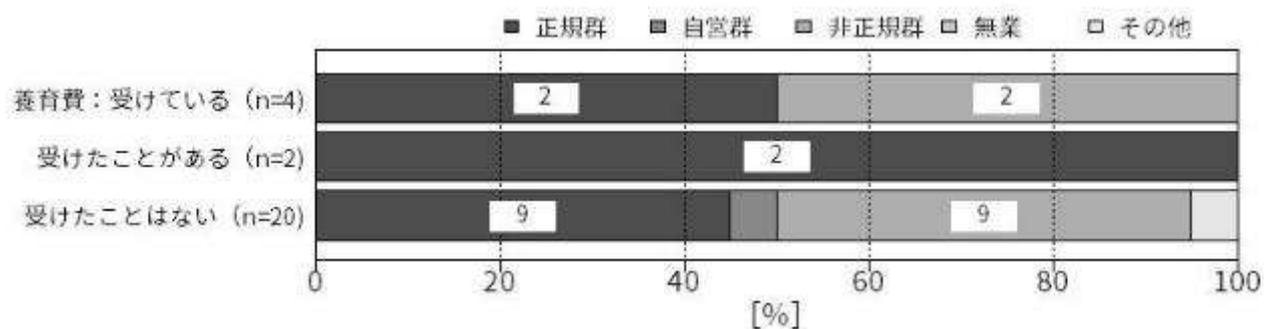
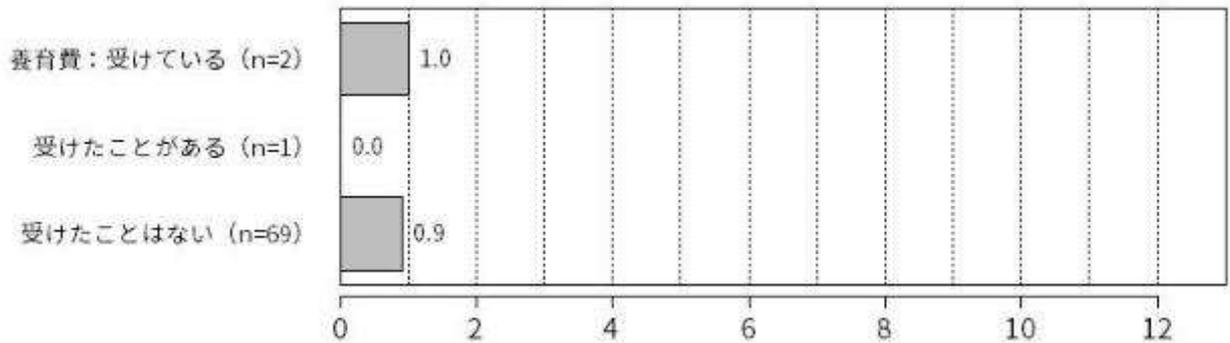


図 80. 養育費の受給別に見た、就労状況＜母子世帯＞

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）  
 <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

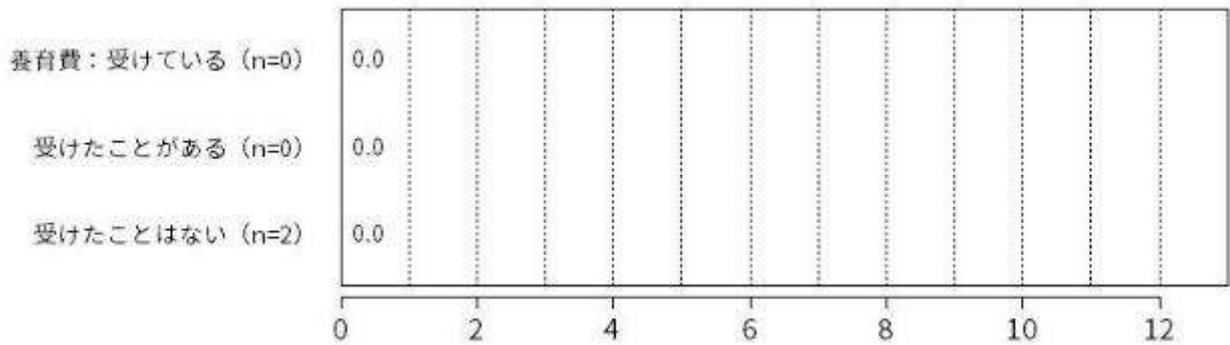
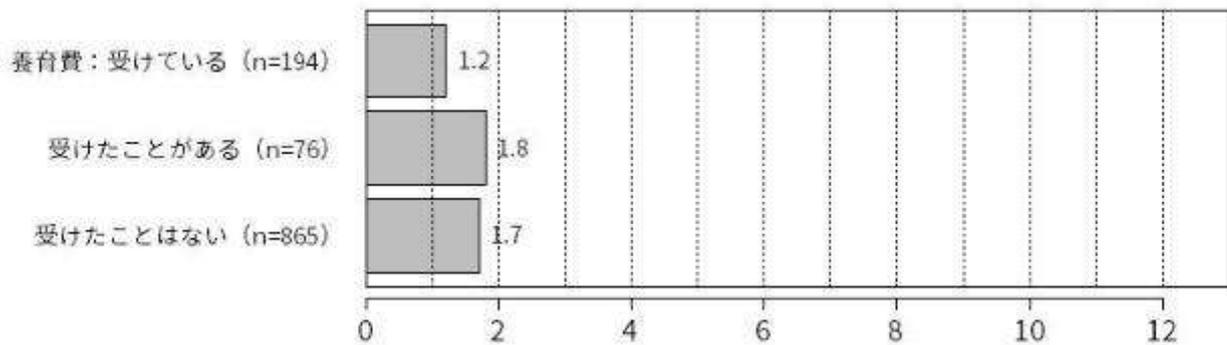


図 81. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと  
 <父子世帯>

父子世帯で養育費を受けていた該当者がいなかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと（問 30-3-9×問 29）  
 <母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

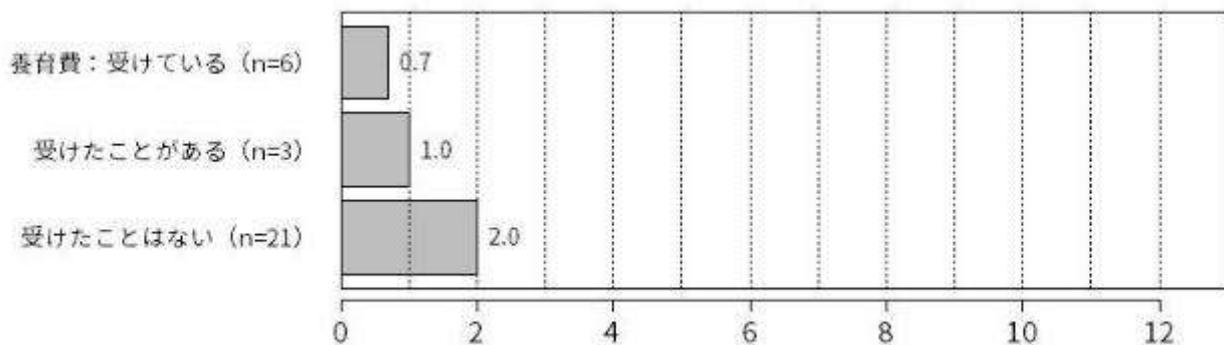
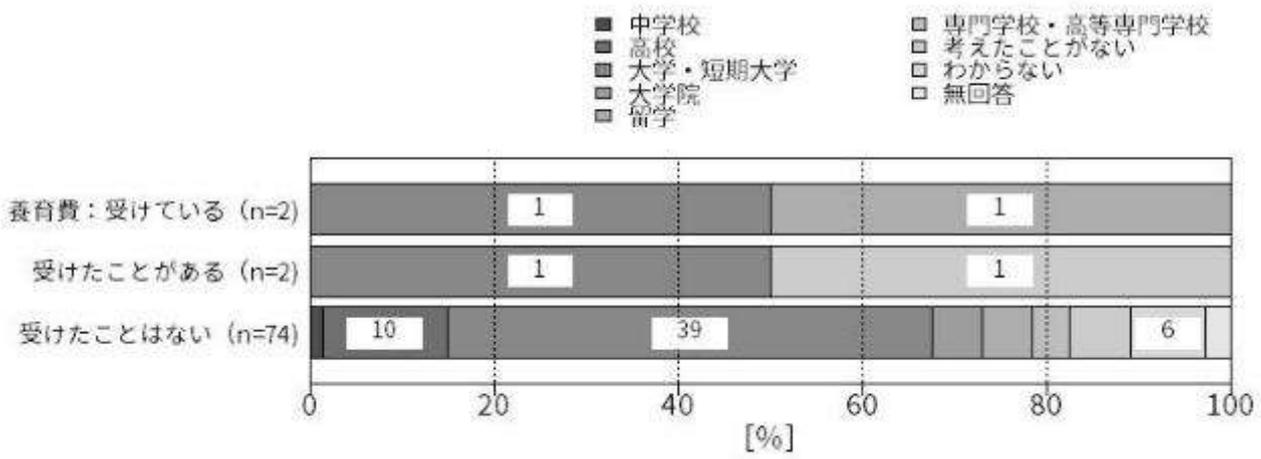


図 82. 養育費の受給別に見た、子どもについて経済的な理由でできなかったこと  
 <母子世帯>

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32） <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

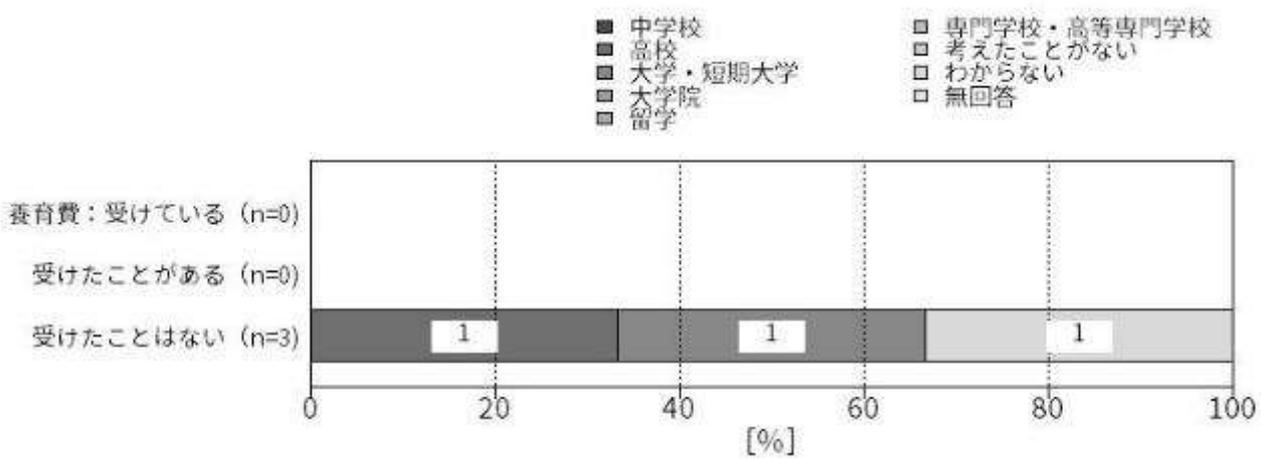
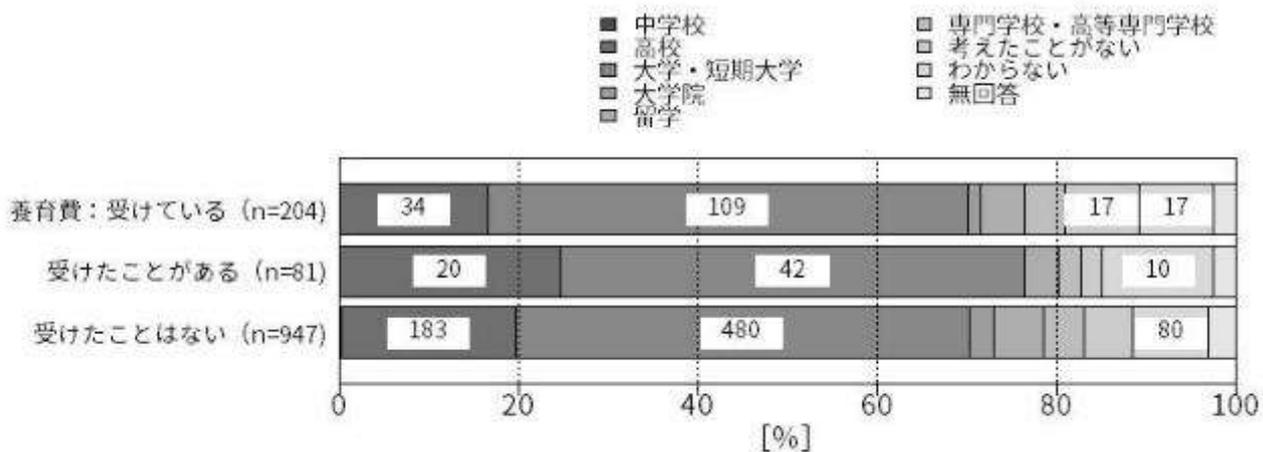


図 83. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望 <父子世帯>

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、子の進学先希望（問 30-3-9×問 32）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

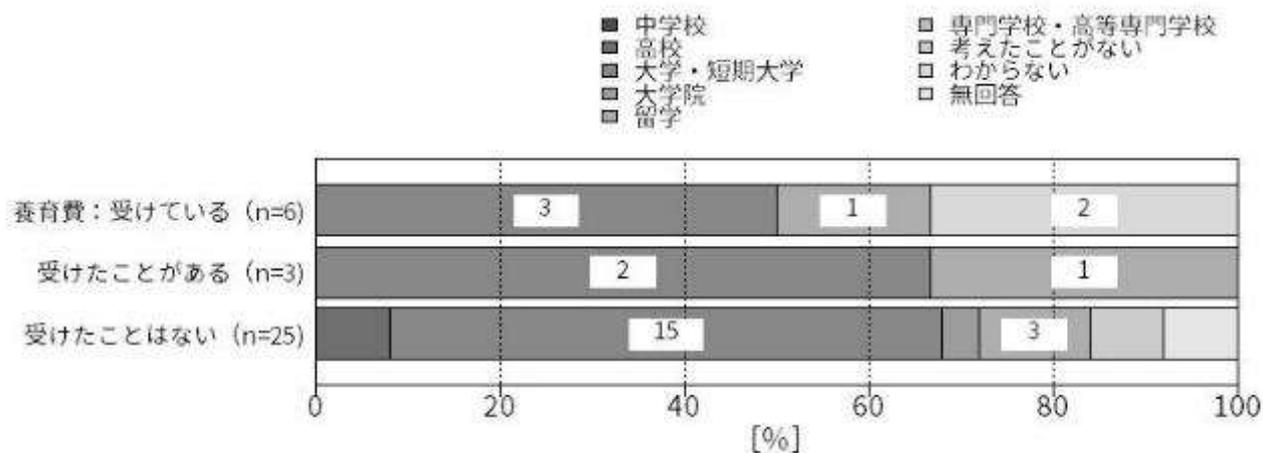
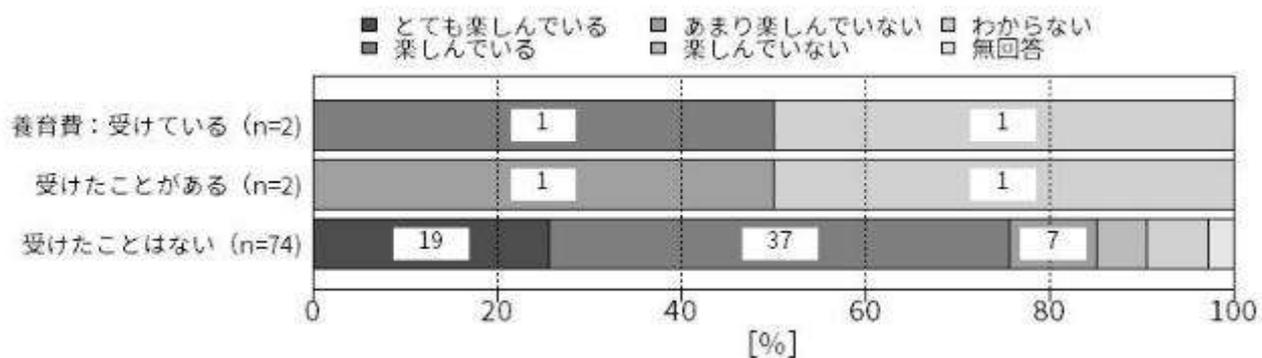


図 84. 養育費の受給別に見た、子の進学先希望  
＜母子世帯＞

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

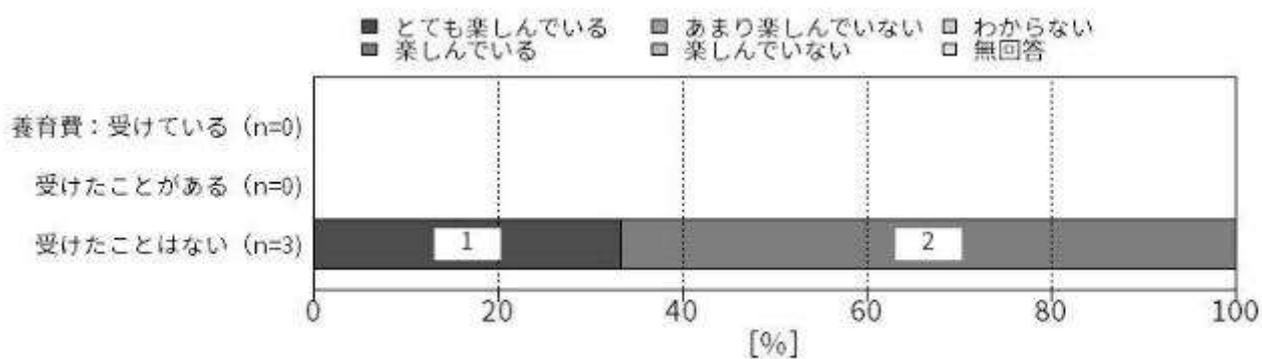
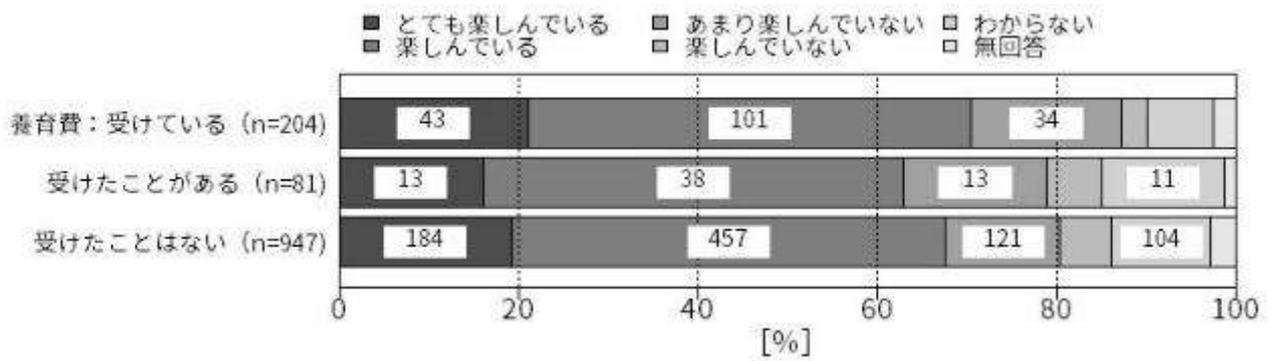


図 85. 養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる  
＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問 30-3-9×問 36-1）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

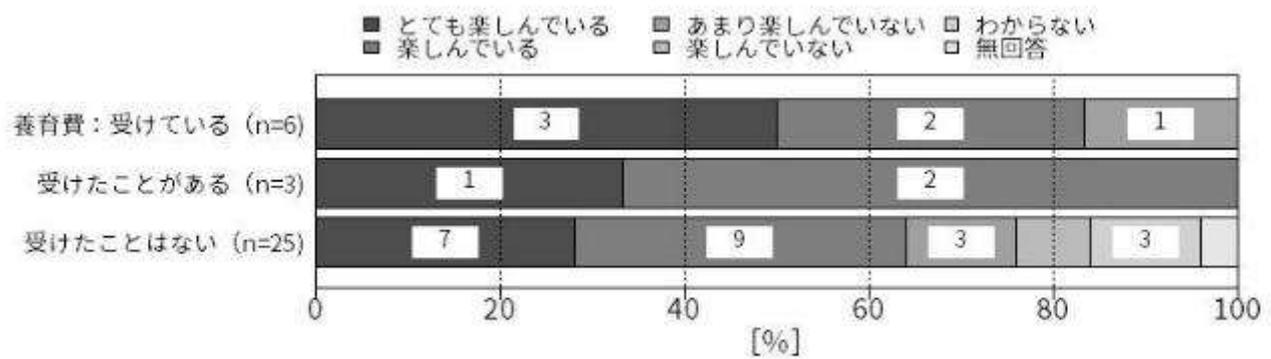
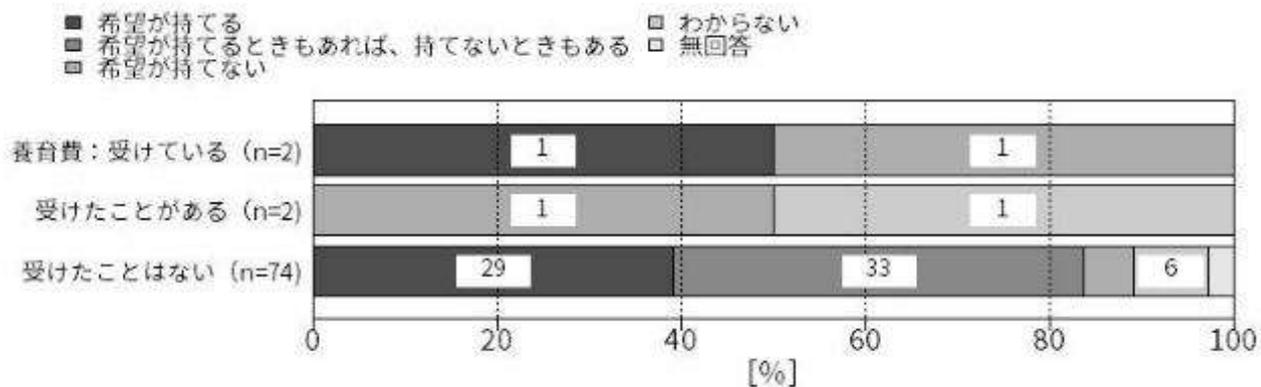


図 86. 養育費の受給別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる  
＜母子世帯＞

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

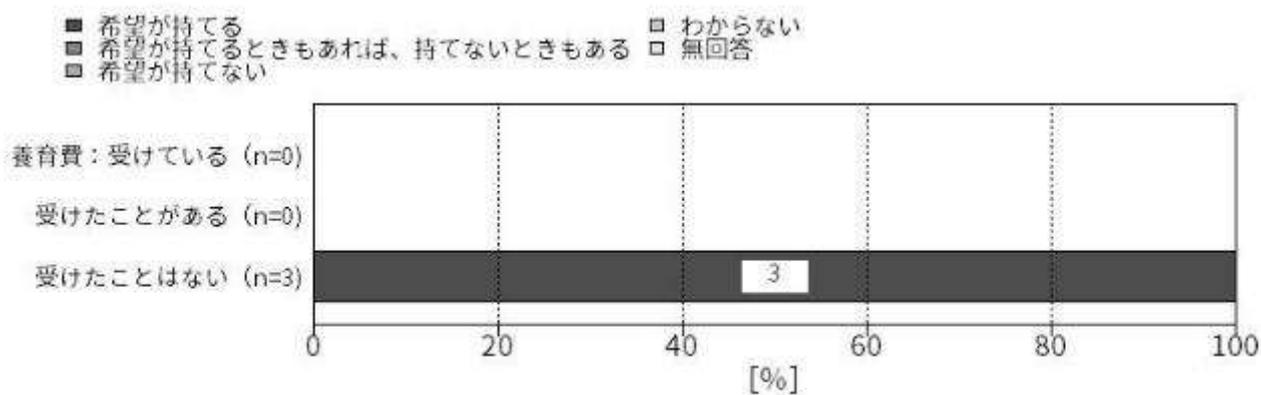
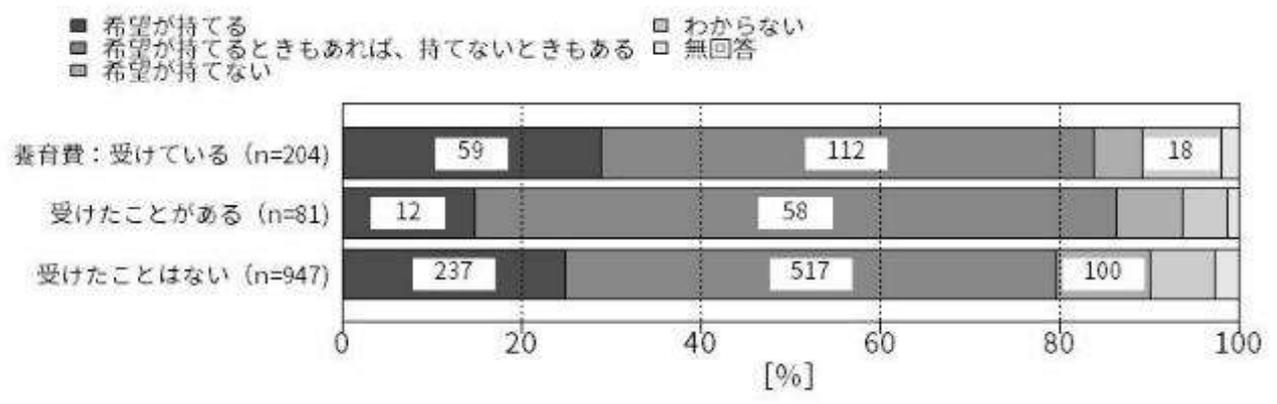


図 87. 養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望  
＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望（問 30-3-9×問 36-2）＜母子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

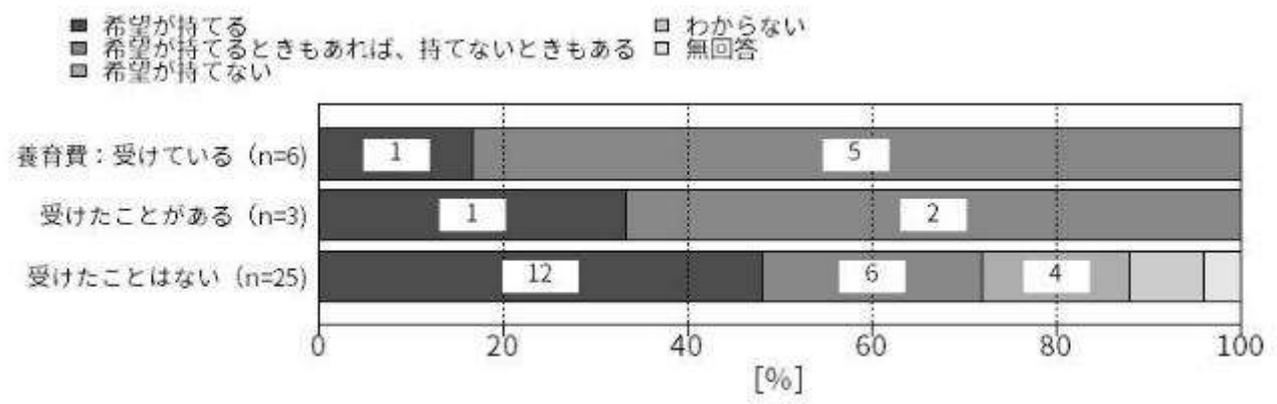
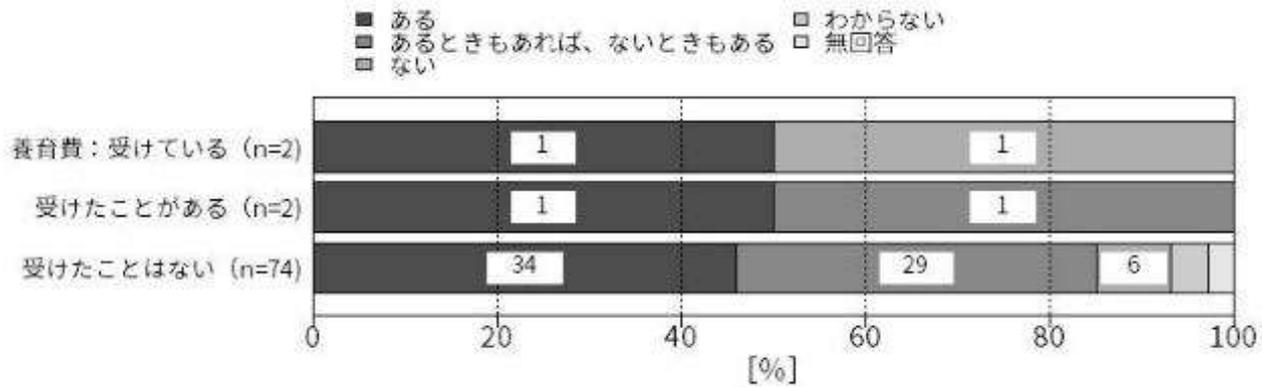


図 88. 養育費の受給別に見た、心の状態（2）将来への希望  
＜母子世帯＞

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）  
 <父子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

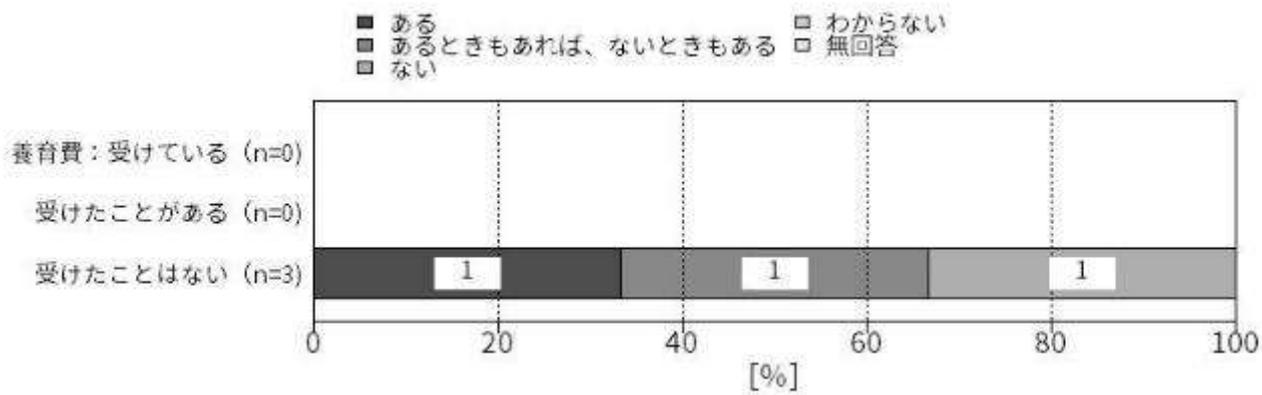
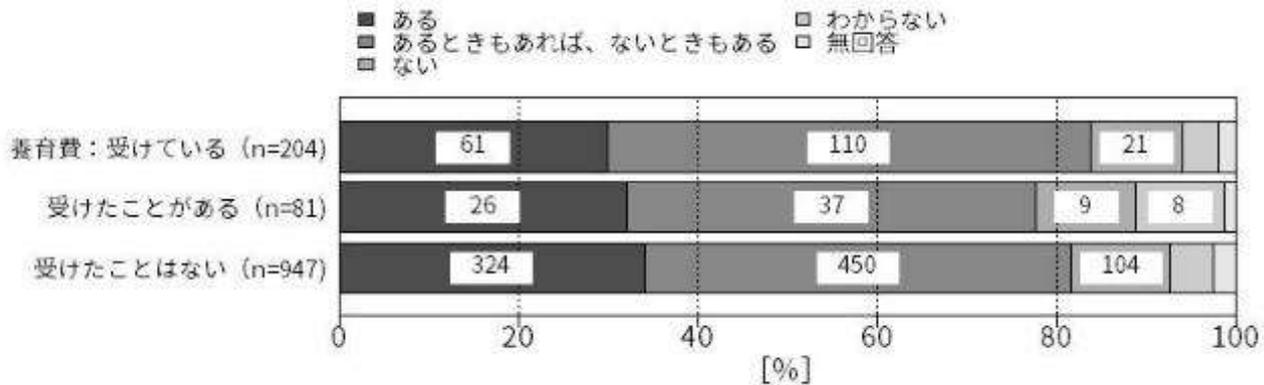


図 89. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの  
 <父子世帯>

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの（問 30-3-9×問 36-3）  
 <母子世帯>

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

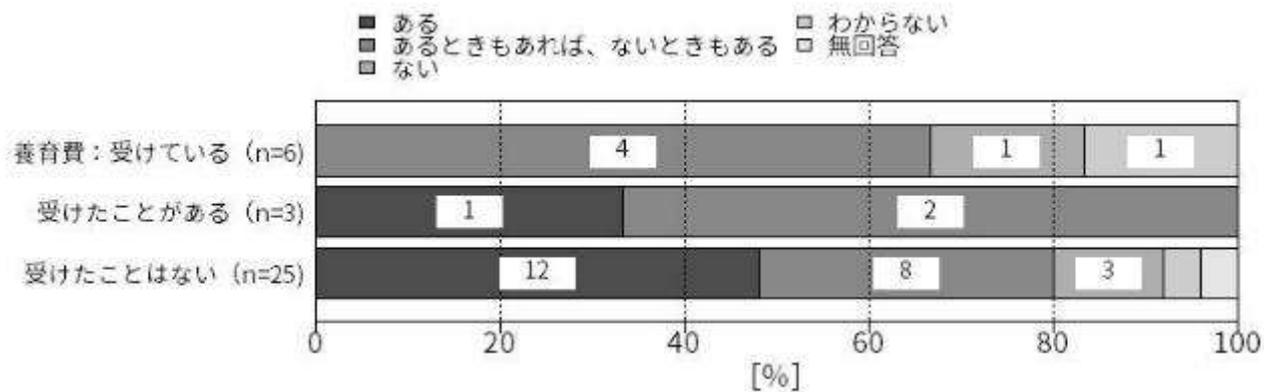
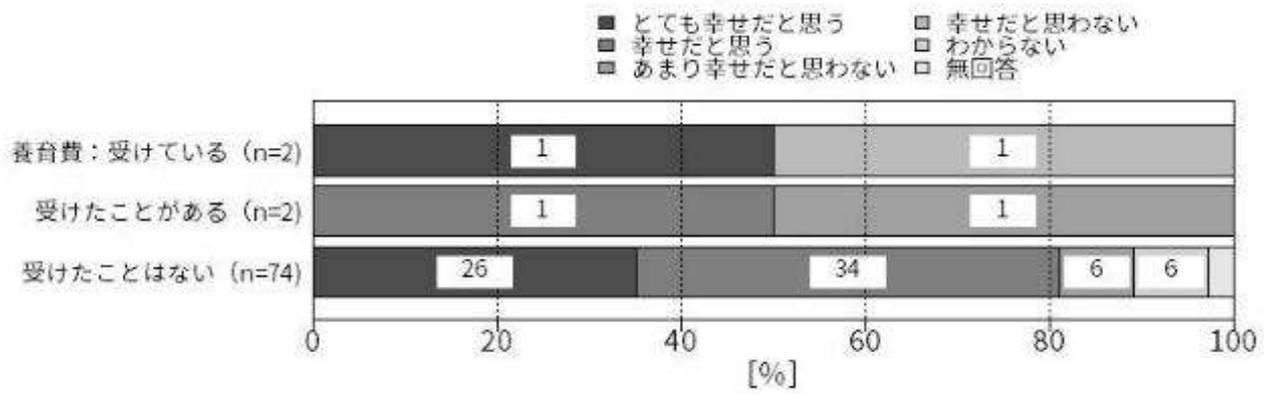


図 90. 養育費の受給別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの  
 <母子世帯>

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜父子世帯＞

＜大阪市 24 区＞



＜大阪市中央区＞

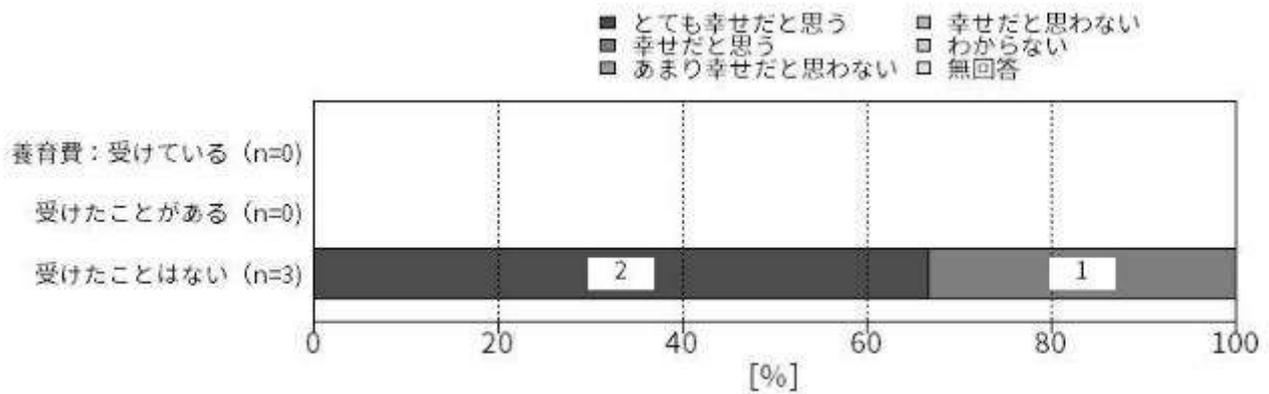
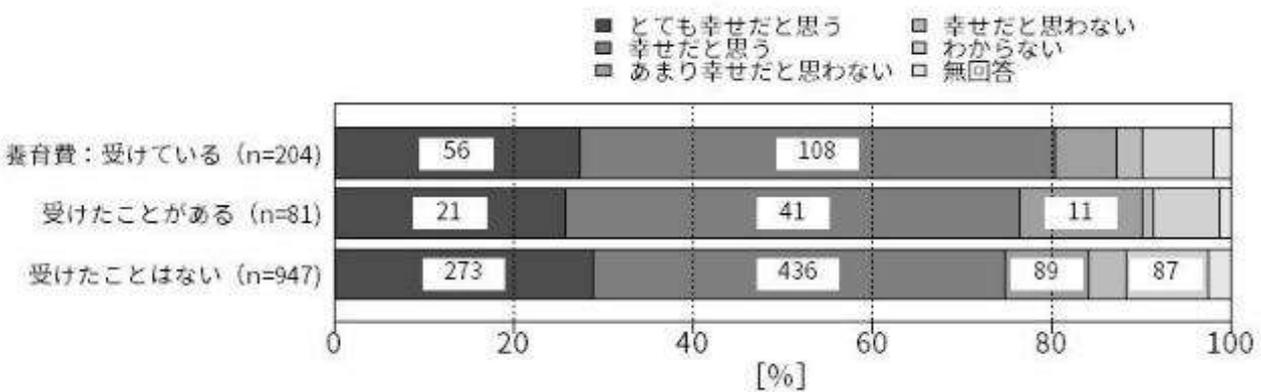


図 91. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う  
 ＜父子世帯＞

父子世帯は少なかったため、傾向を述べることはできない。

養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 30-3-9×問 36-4）＜母子世帯＞

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

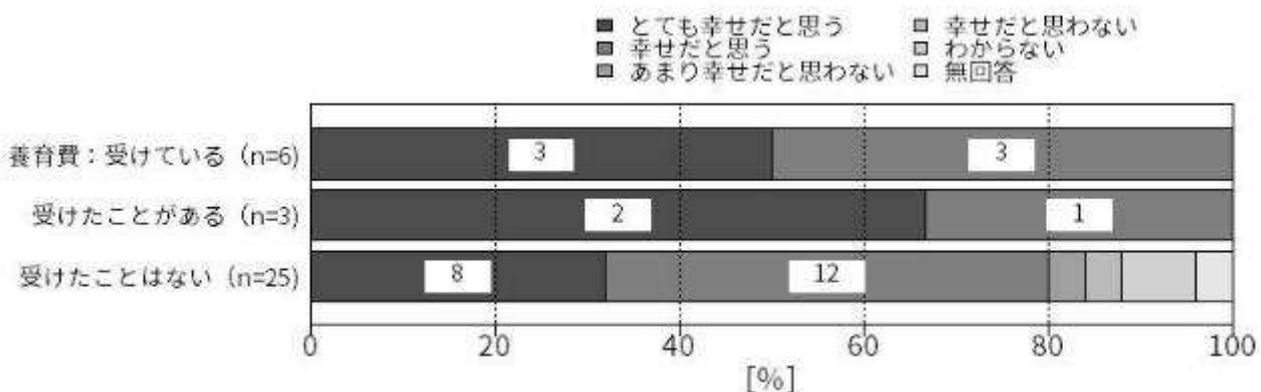
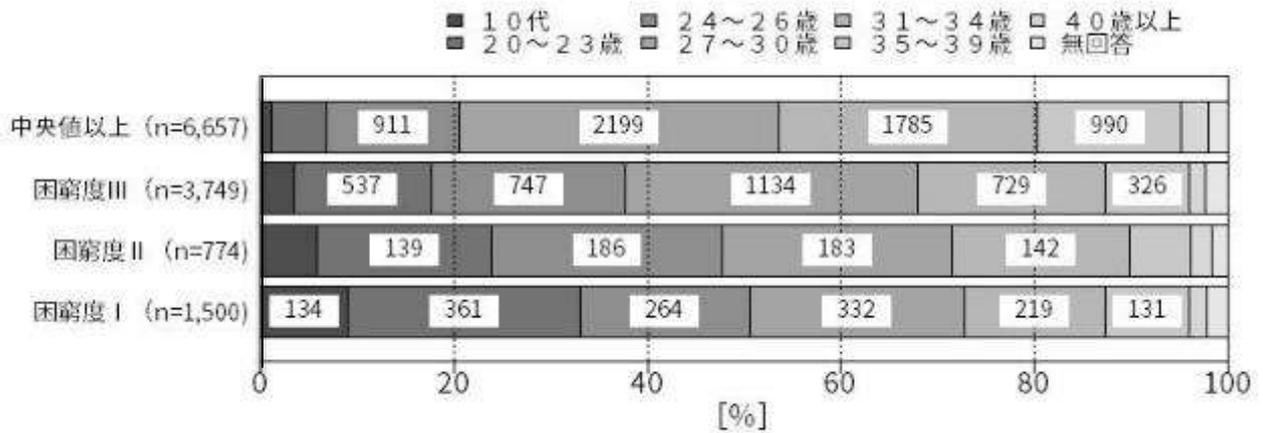


図 92. 養育費の受給別に見た、心の状態（４）幸せだと思う  
＜母子世帯＞

いずれも人数が少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

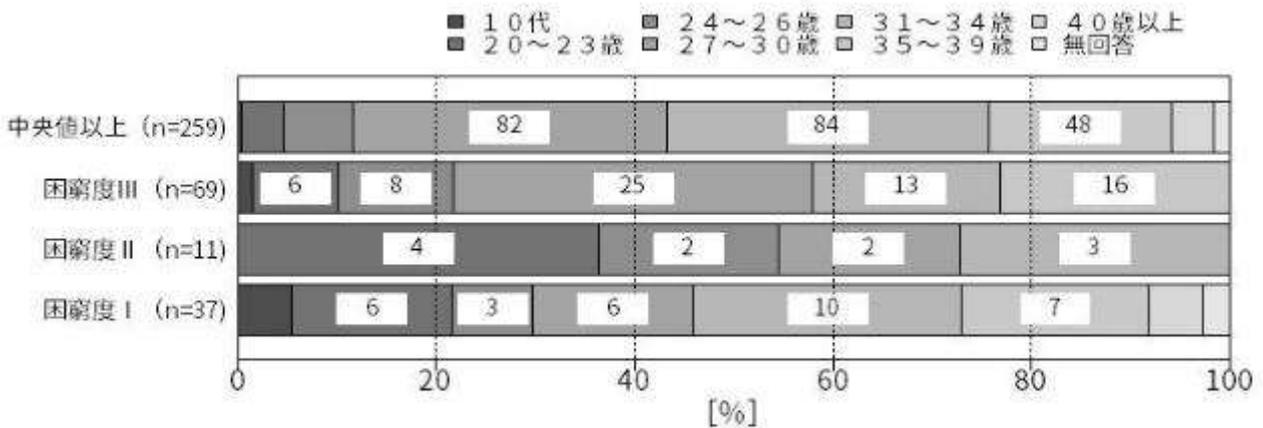


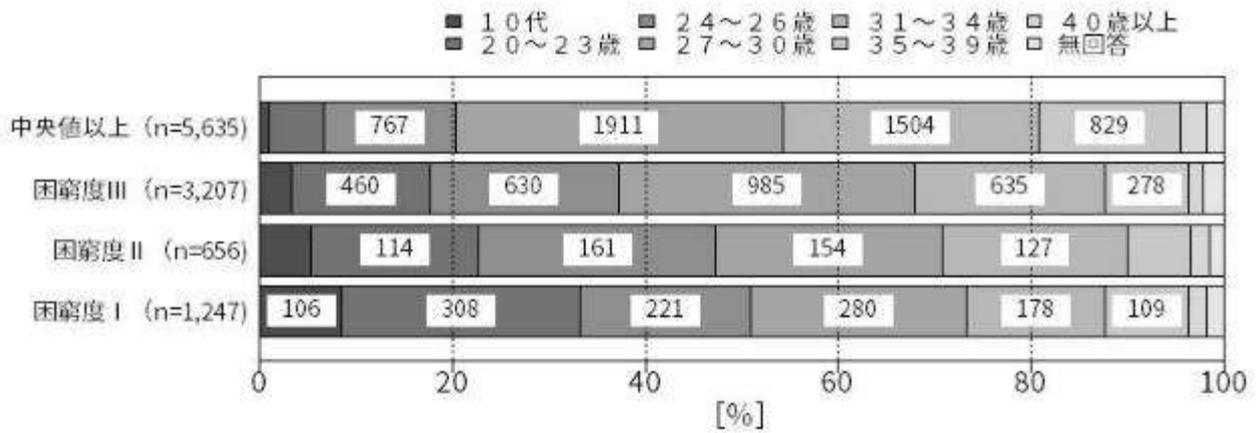
図 93. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにしたがって、10代・20～23歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で10代で親となった割合は5.4%、20～23歳で親になった割合は16.2%であった。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

困窮度別に見た、はじめて親となった年齢（問 33）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

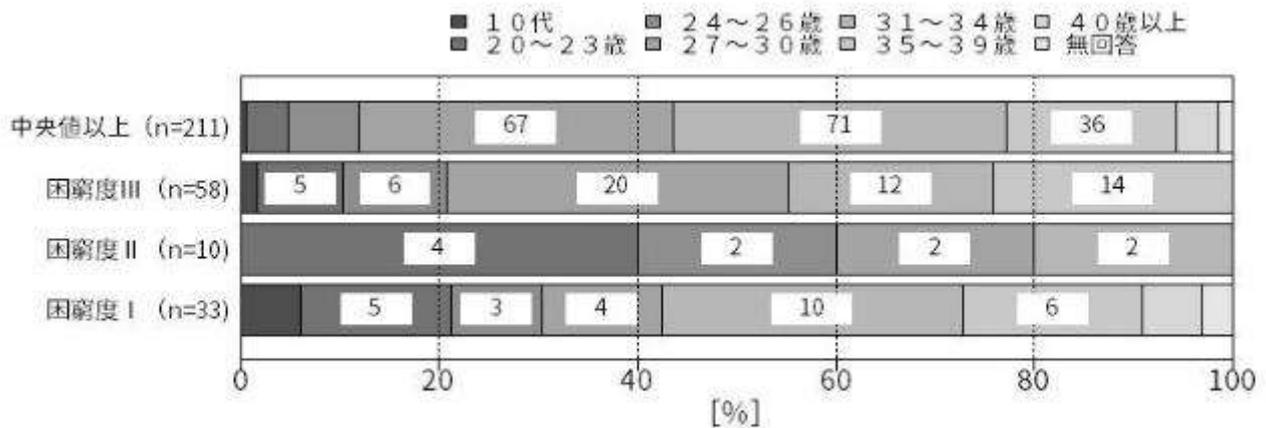


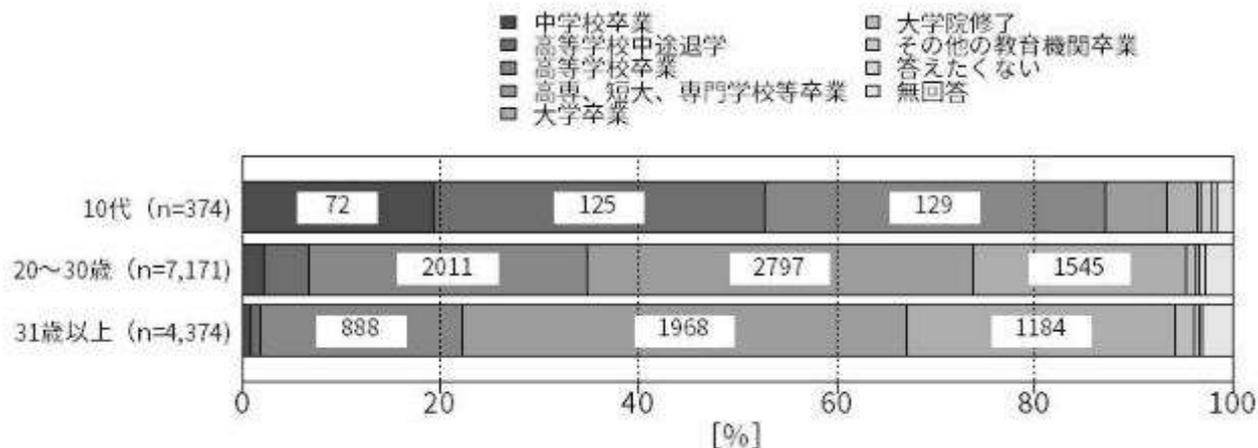
図 94. 困窮度別に見た、はじめて親となった年齢  
※母親が回答者の場合に限定

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

中央値以上群と比べて、困窮度Ⅰ群・困窮度Ⅱ群・困窮度Ⅲ群では10代・20～23歳で親となった割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で10代で親となった割合は6.1%、20～23歳で親になった割合は15.2%であった。若い世代で出産する人では、経済的に厳しいことが示唆される。

初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（問 33×問 8-母）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

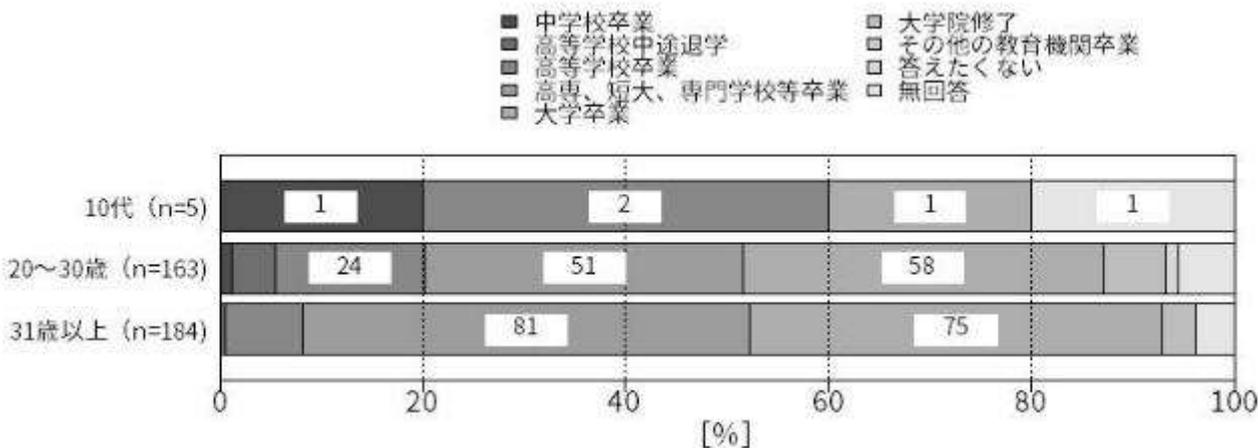


図 95. 初めて親となった年齢別に見た、母親の最終学歴（母親）  
※母親が回答者の場合に限定

「初めて親となった年齢」を基準に、10代で初めて親となった10代群、平均出産年齢以下の年齢で初めて親となった平均以下群（20～30歳）、平均出産年齢以上の年齢で初めて親となった平均以上群（31歳以上）を設けた（平均出産年齢については下記 URL を参照）。

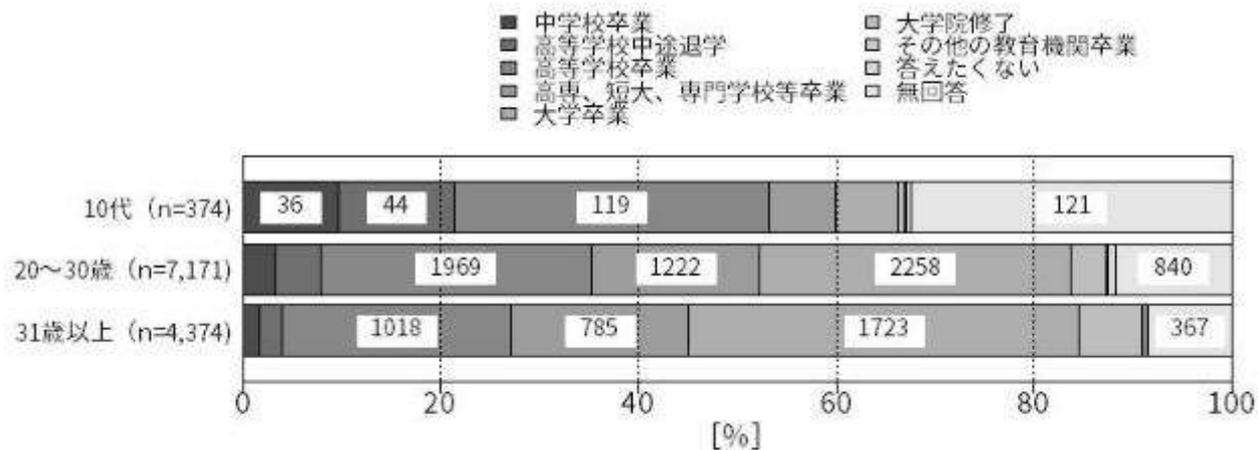
10代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

平均出産年齢

[http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1\\_s1-1.html](http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25webhonpen/html/b1_s1-1.html)

初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（問 33×問 8-父）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

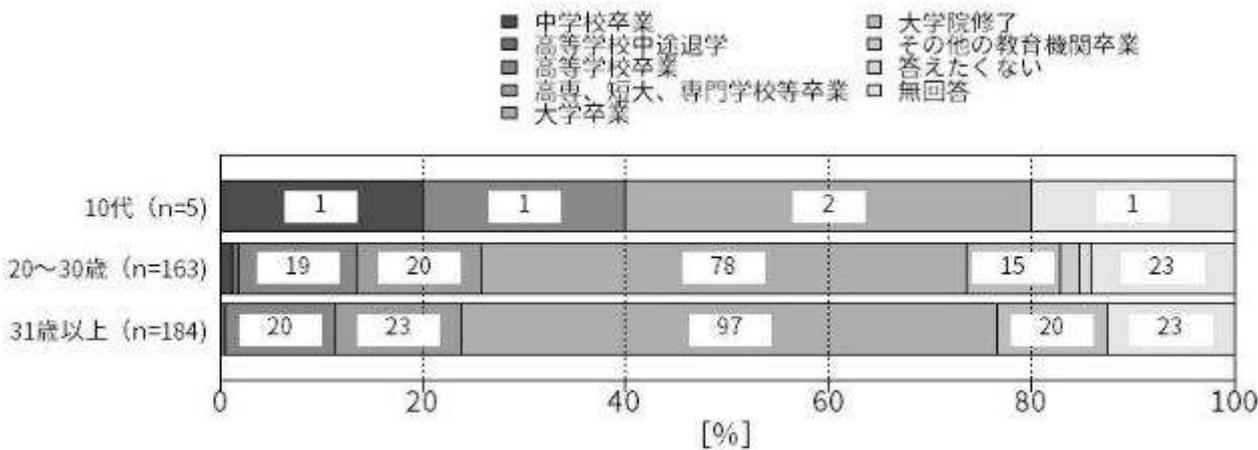
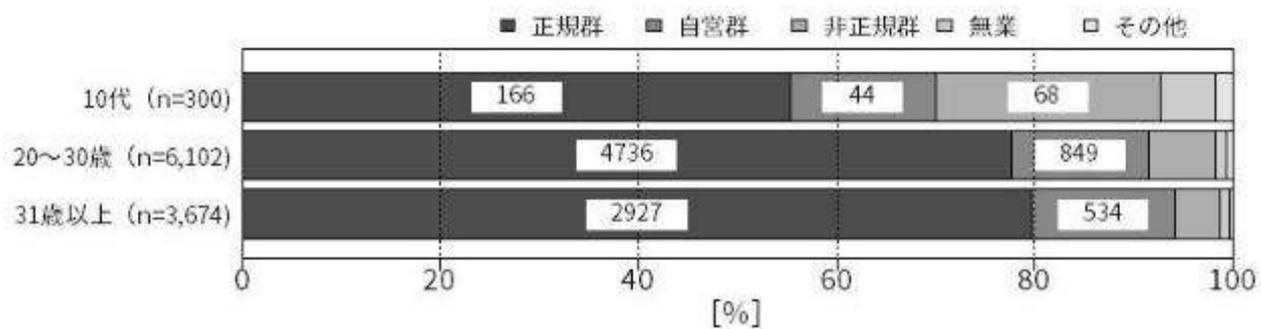


図 96. 初めて親となった年齢別に見た、父親の最終学歴（父親）  
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（問 33×問 8）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

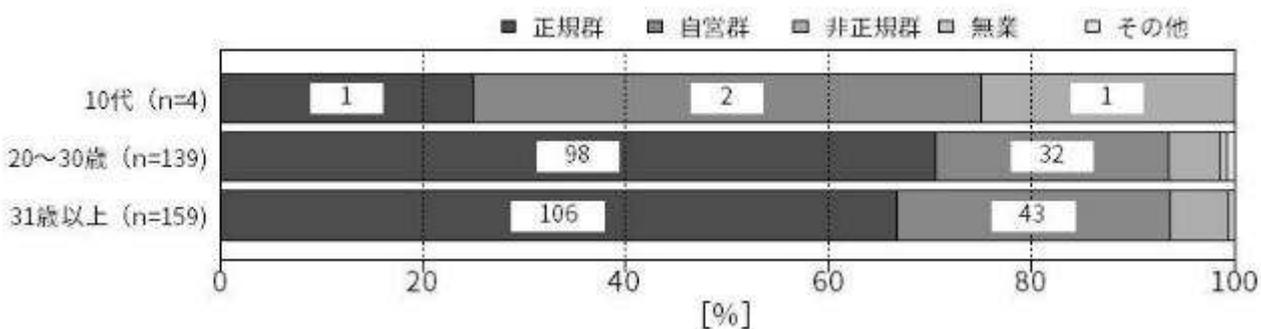
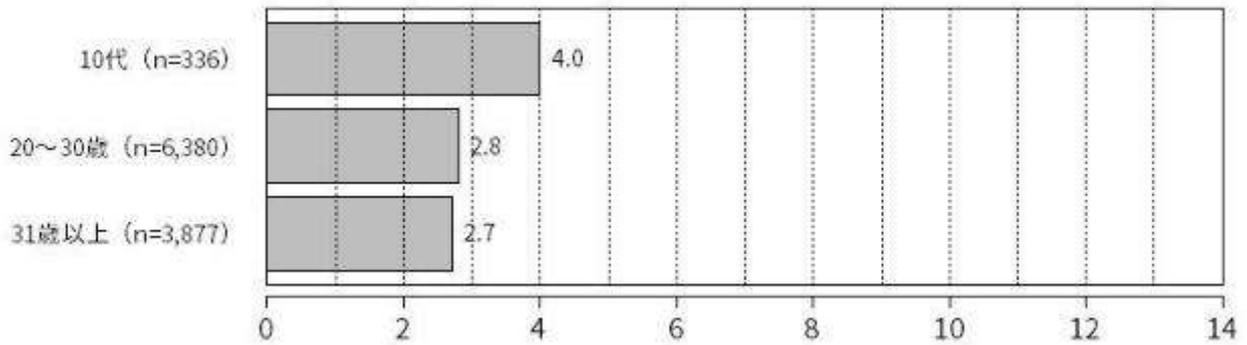


図 97. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況  
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること（問 33×問 37）  
※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

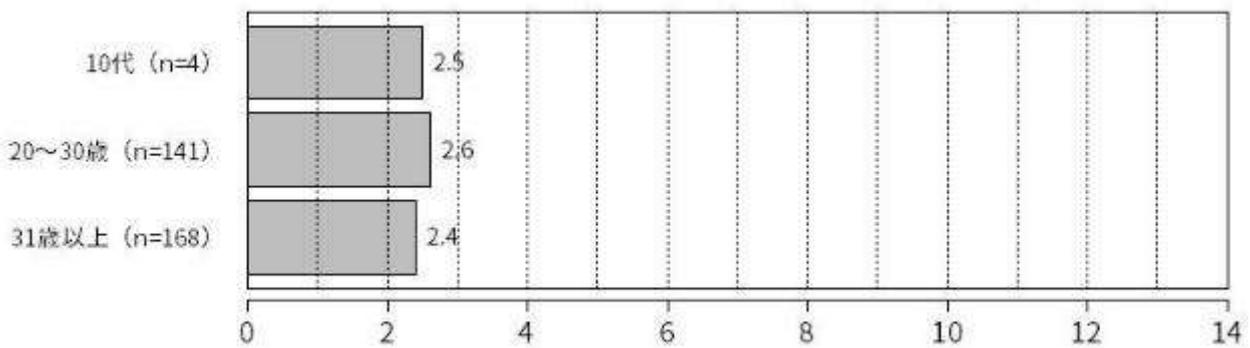
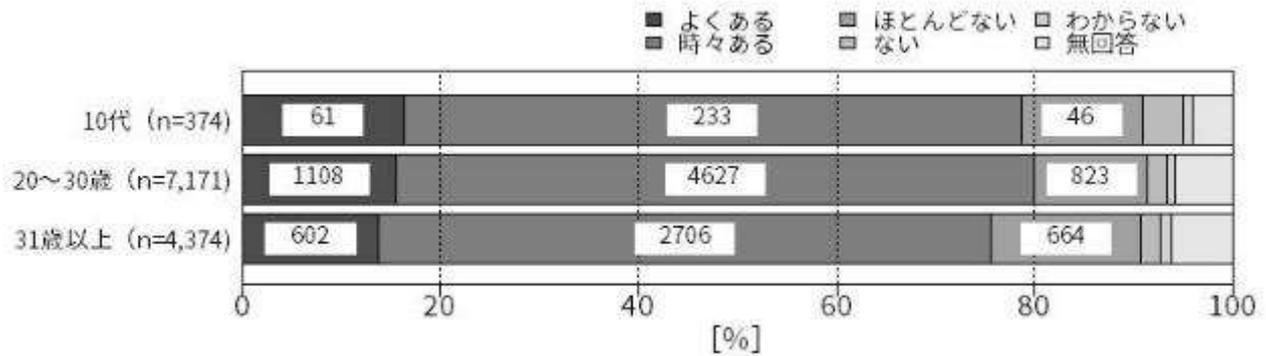


図 98. 初めて親となった年齢別に見た、体や気持ちで気になること  
※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けた頻度（問 33×問 38）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

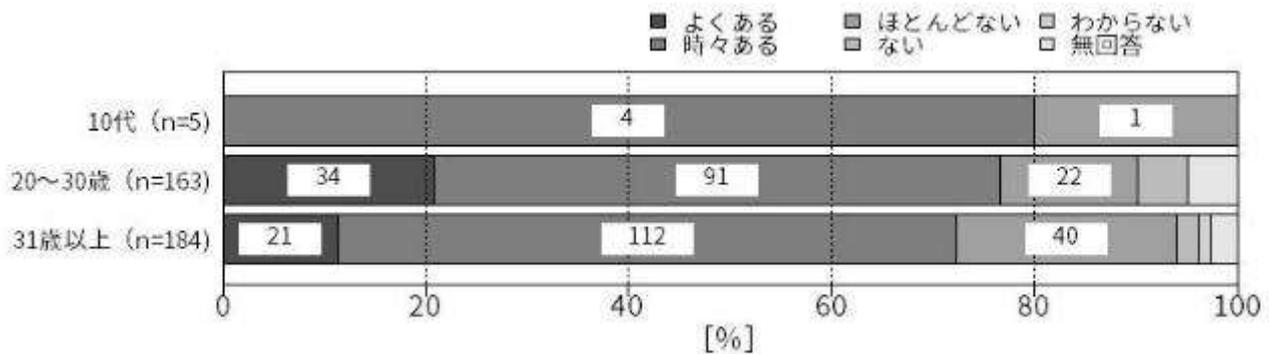
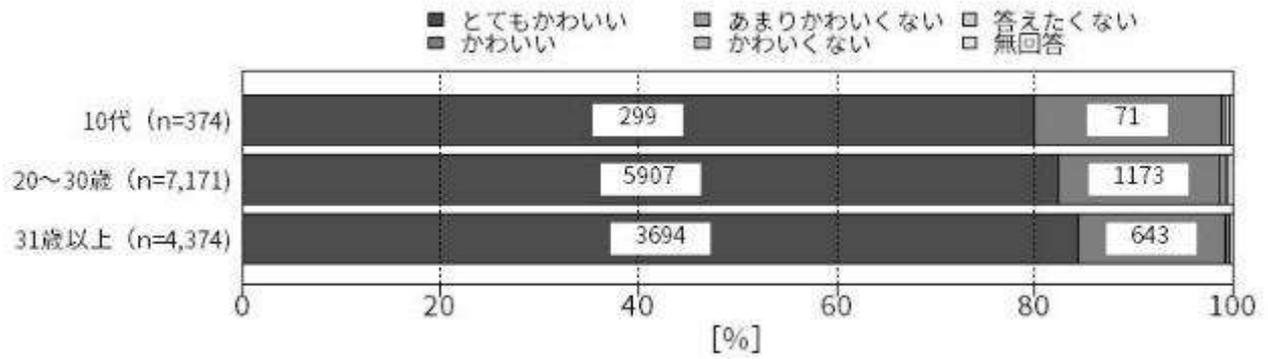


図 99. 初めて親となった年齢別に見た、不安やイライラなどを子どもに向けた頻度  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。20~30 歳で、31 歳以上群よりも「よくある」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（1）子どもをかわいいと思うか（問 33×問 31-1）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

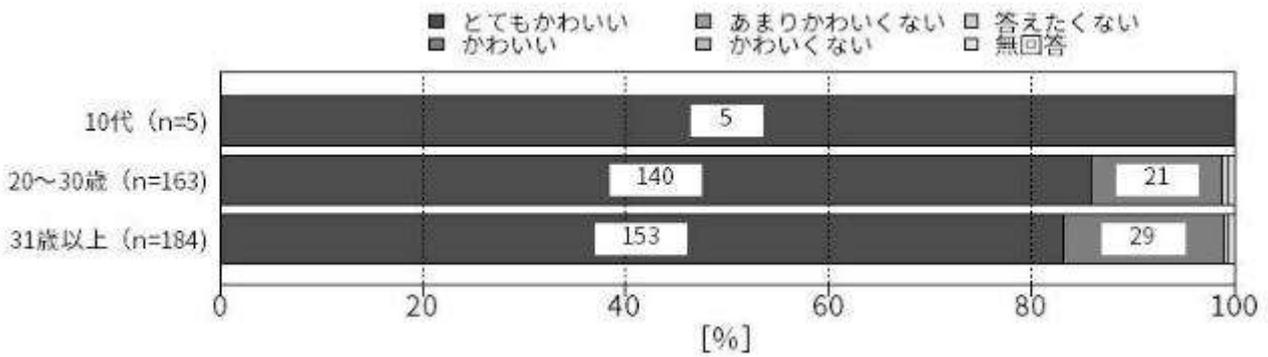
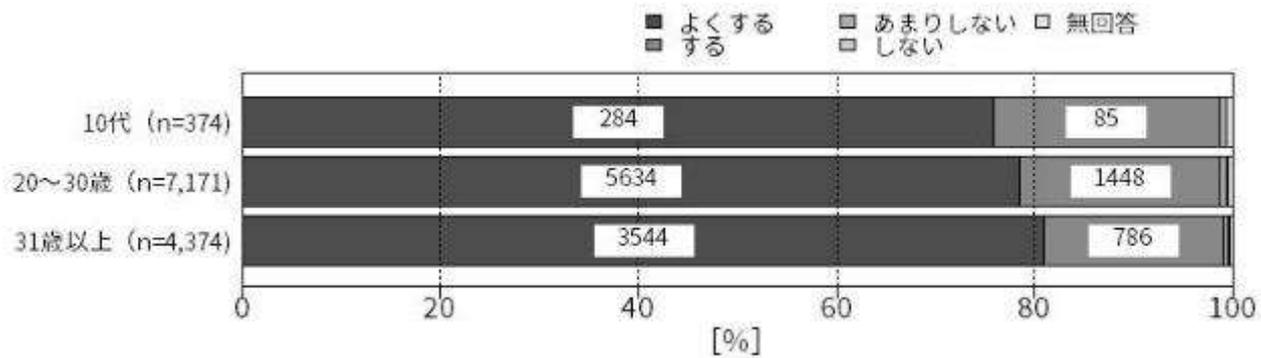


図 100. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（1）子どもをかわいいと思うか  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話（問 33×問 31-2）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

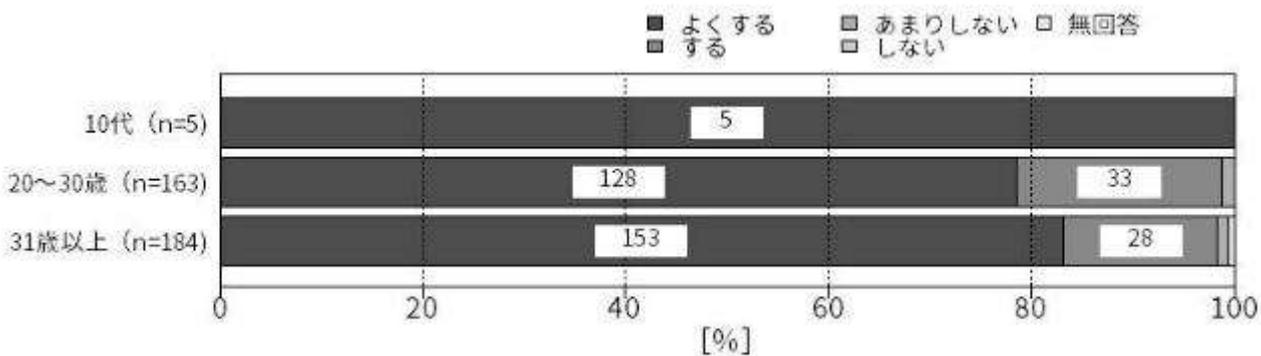
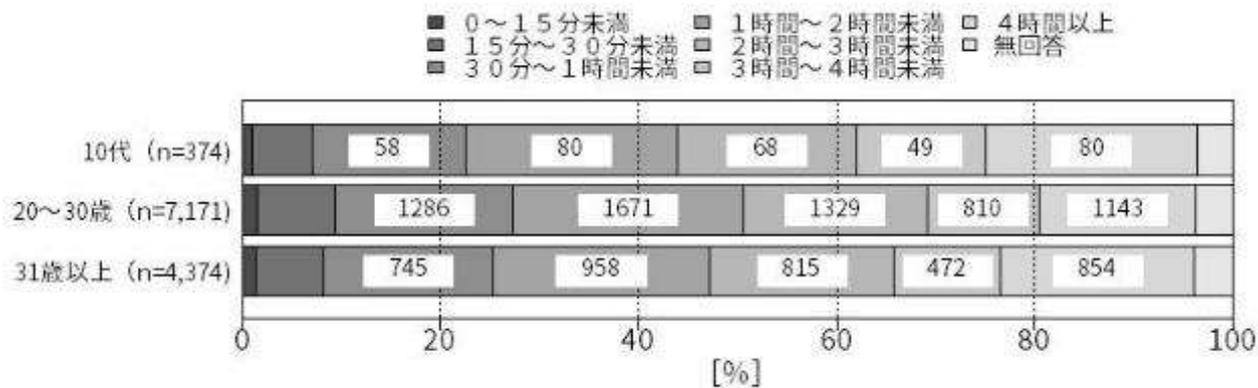


図 101. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（２）子どもと会話  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（3）子どもと一緒にいる時間（平日）  
 （問 33×問 31-3-平日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

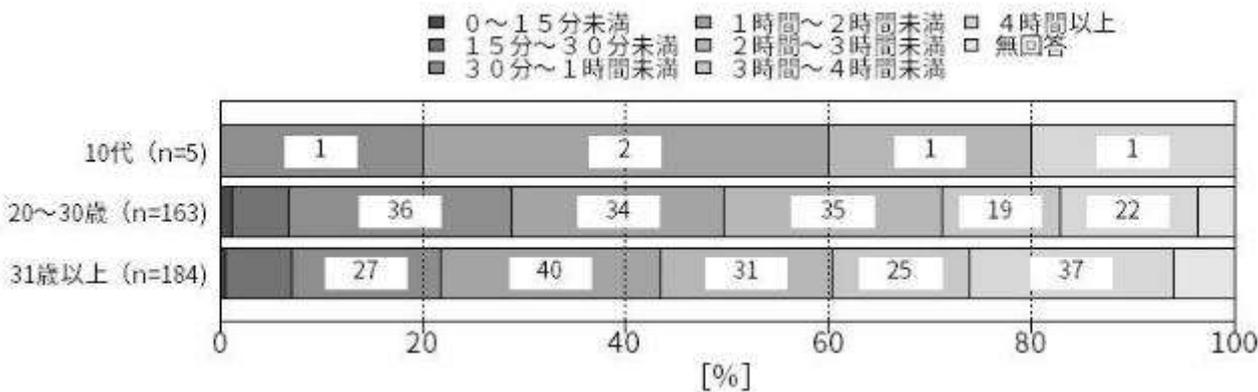
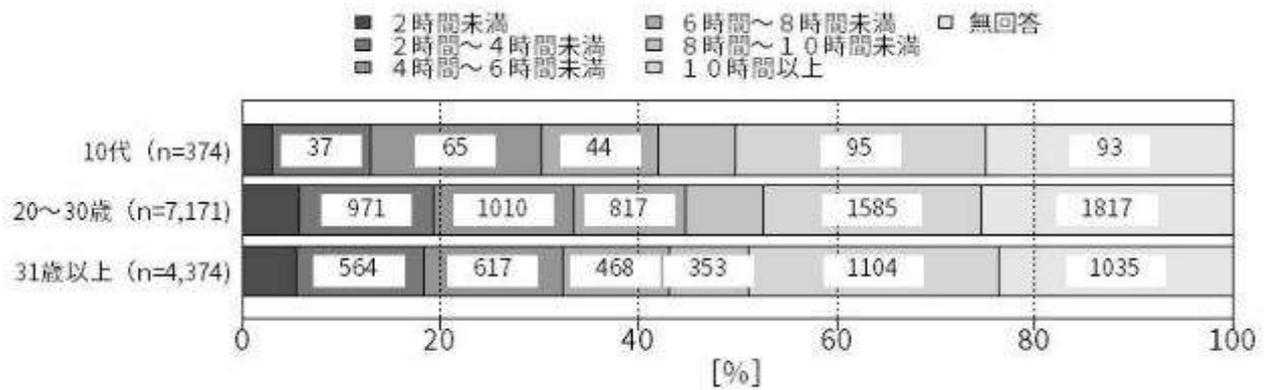


図 102. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（3）子どもと一緒にいる時間（平日）  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、子との関係（3）子どもと一緒にいる時間（休日）  
 （問 33×問 31-3-休日）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

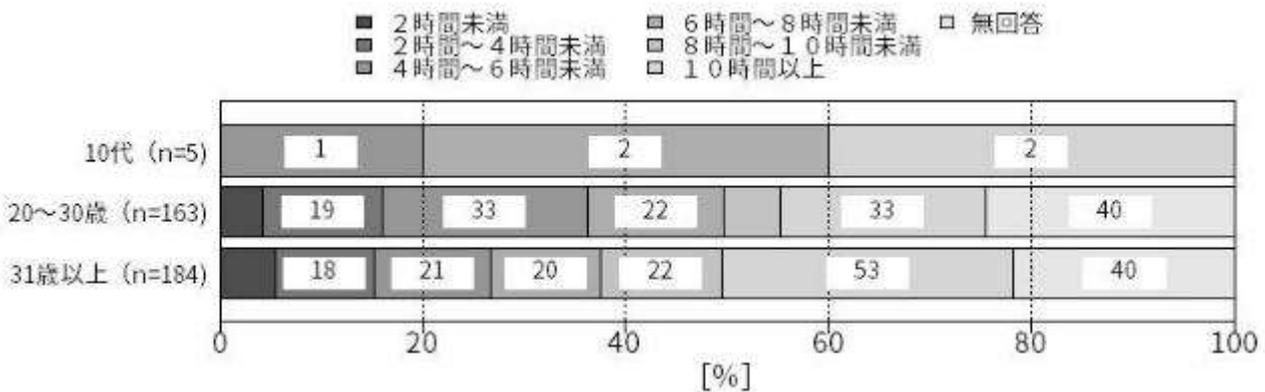
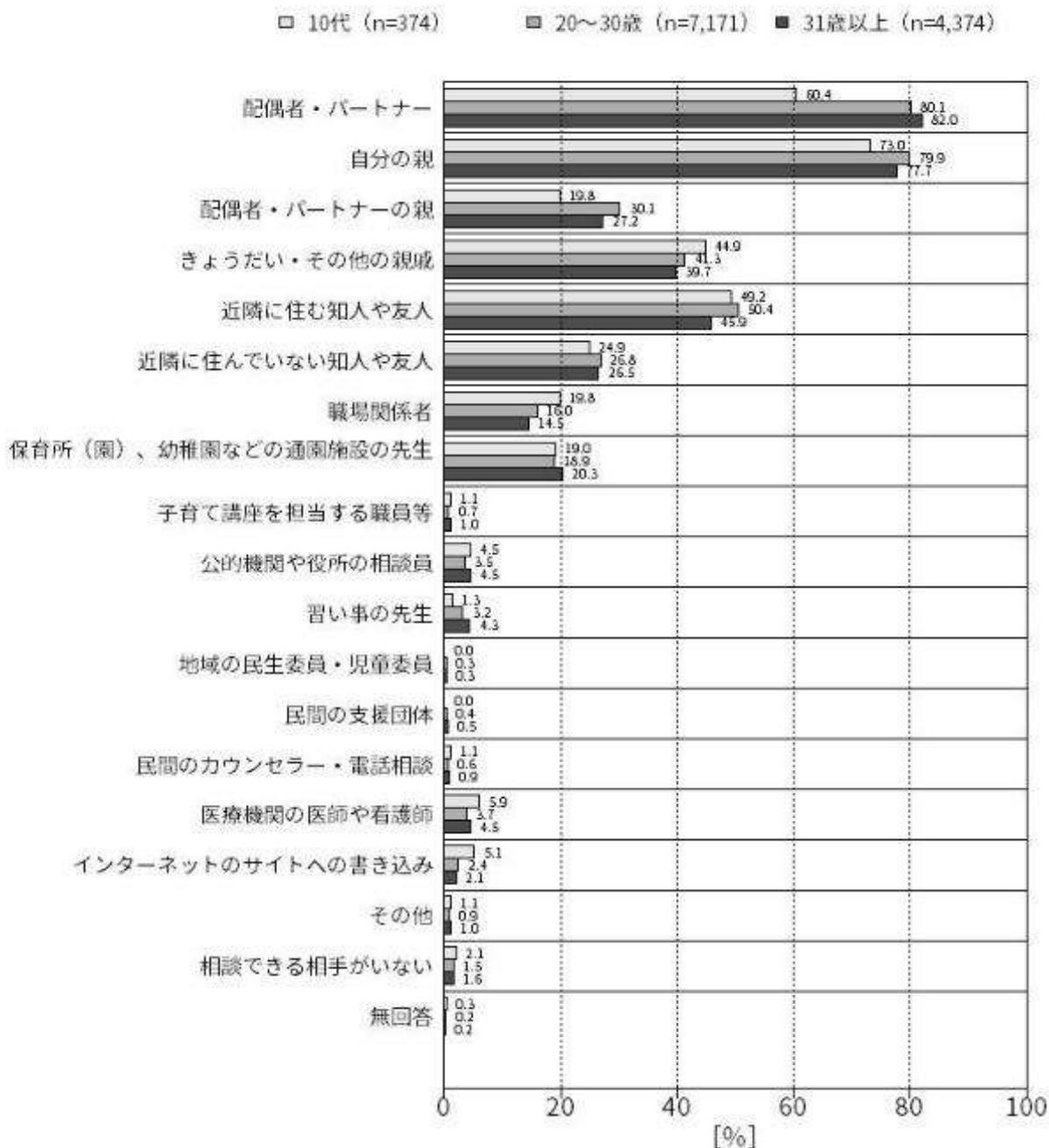


図 103. 初めて親となった年齢別に見た、子との関係（3）子どもと一緒にいる時間（休日）  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、相談相手（問 33×問 35）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

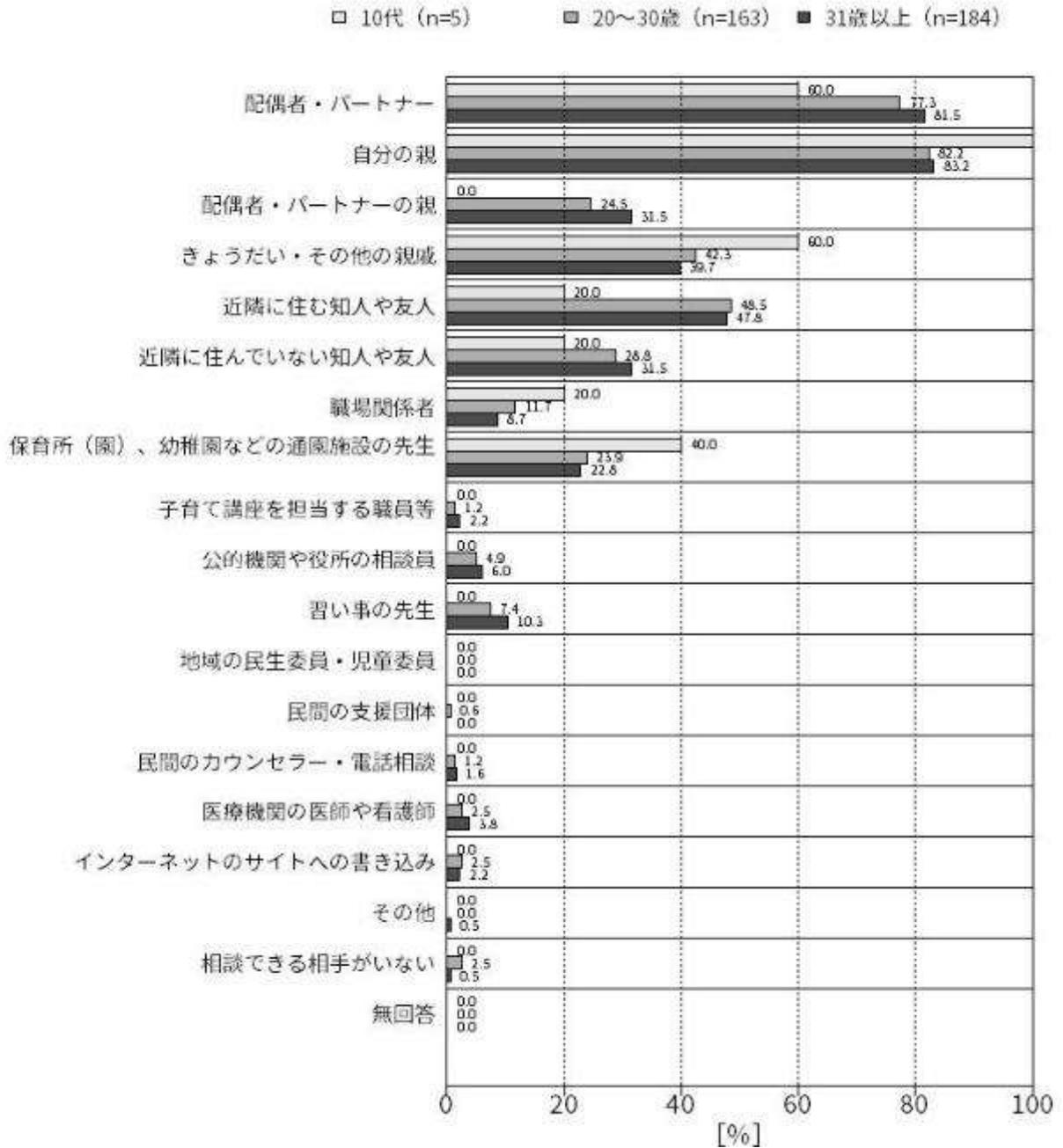


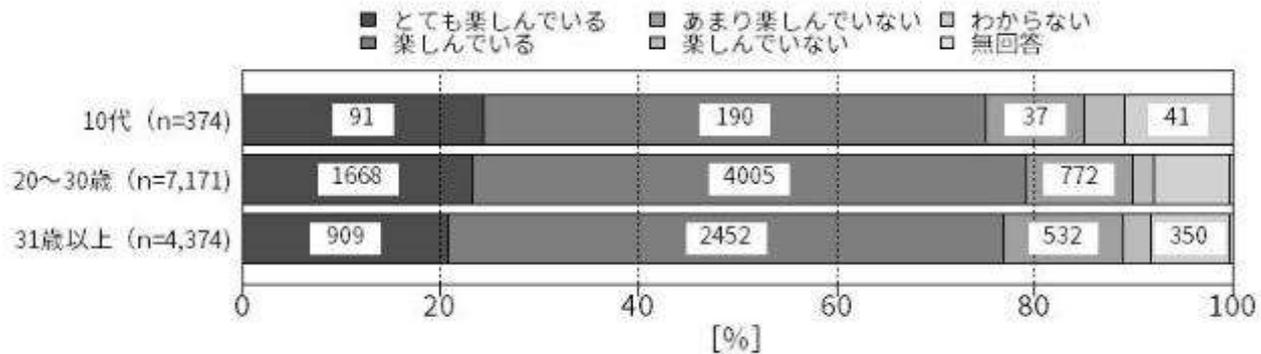
図 104. 初めて親となった年齢別に見た、相談相手

※母親が回答者の場合に限定

10代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる（問 33×問 36-1）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

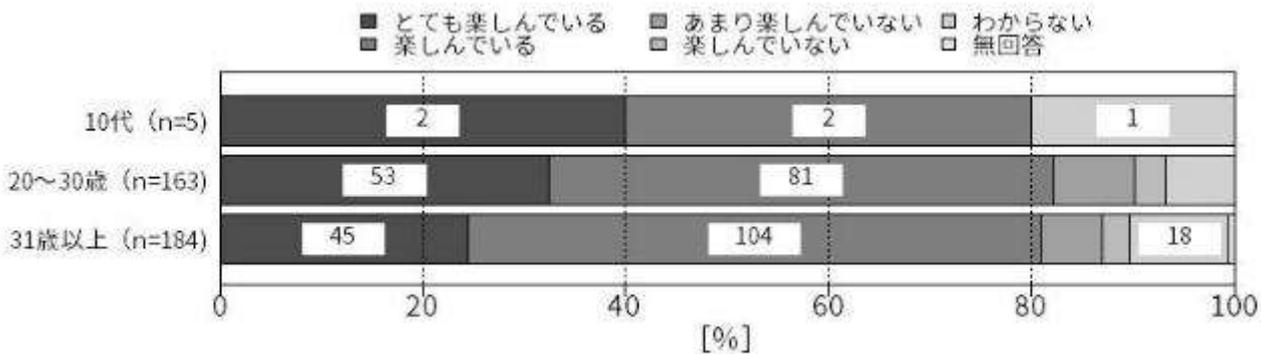
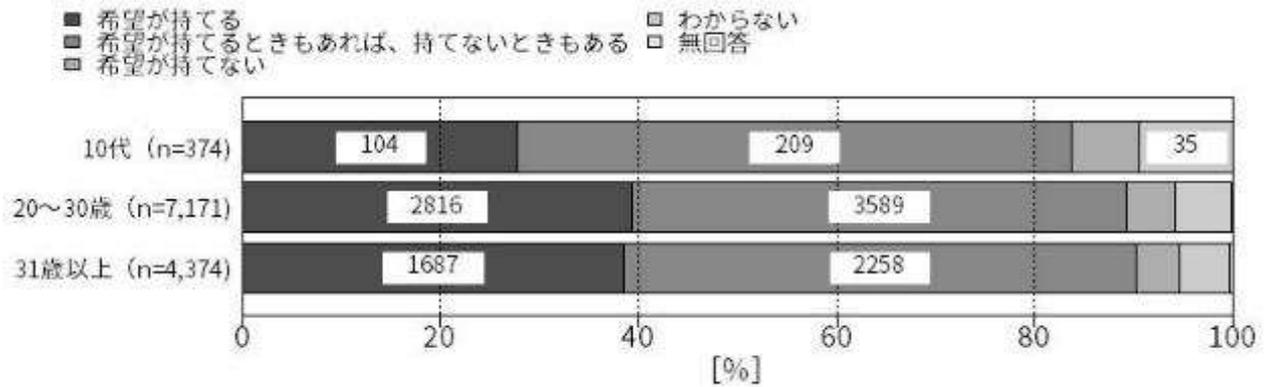


図 105. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（1）生活を楽しんでいる  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（2）将来への希望（問 33×問 36-2）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

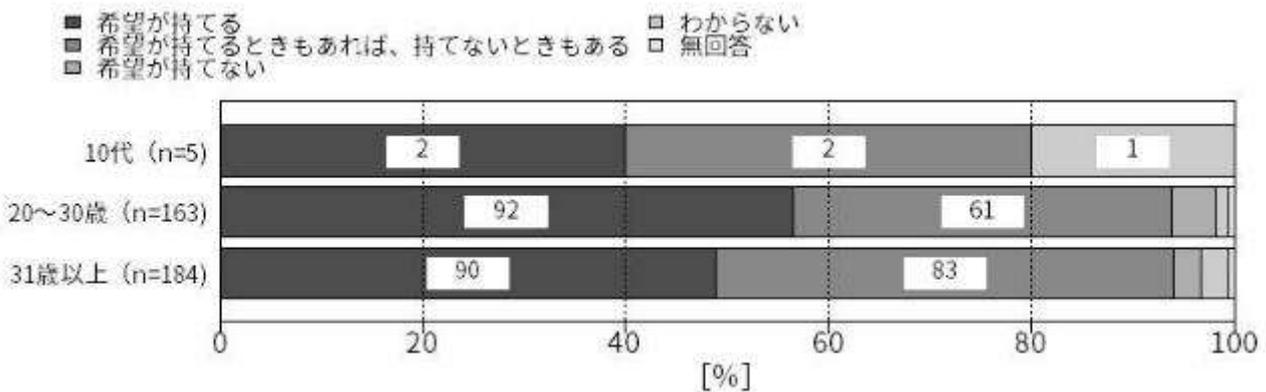
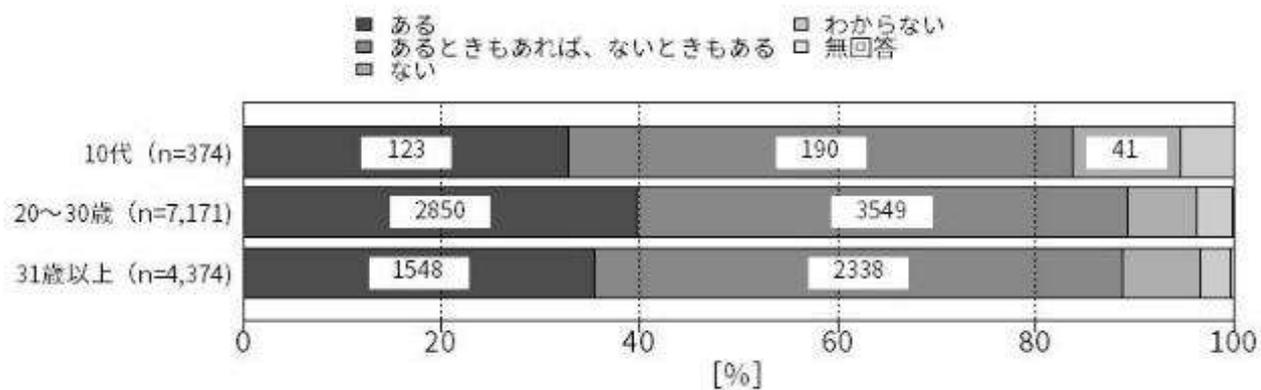


図 106. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（2）将来への希望  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの  
 （問 33×問 36-3）※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

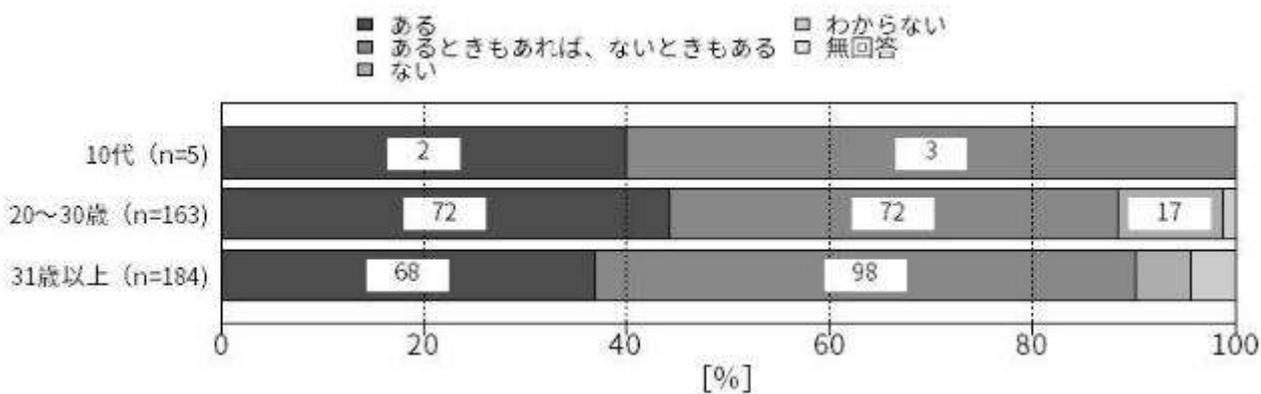
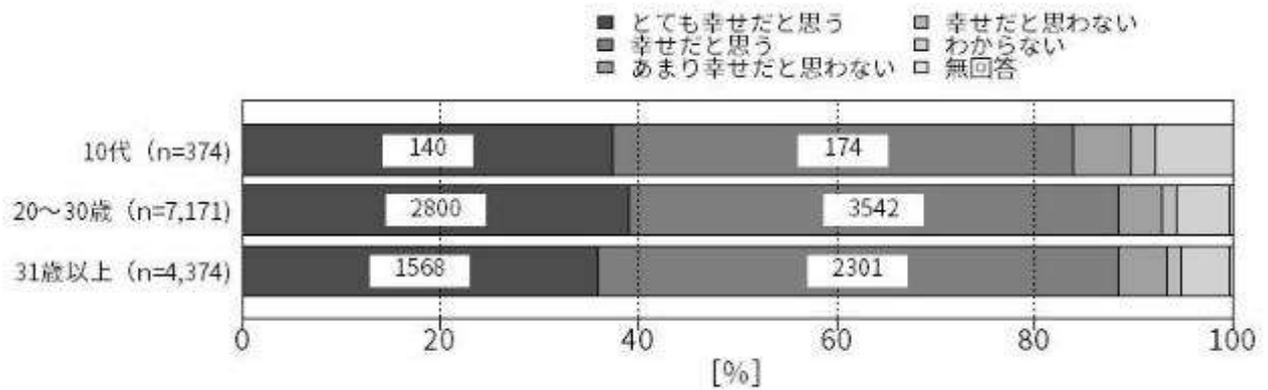


図 107. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（3）ストレス発散できるもの  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う（問 33×問 36-4）  
 ※母親が回答者の場合に限定

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

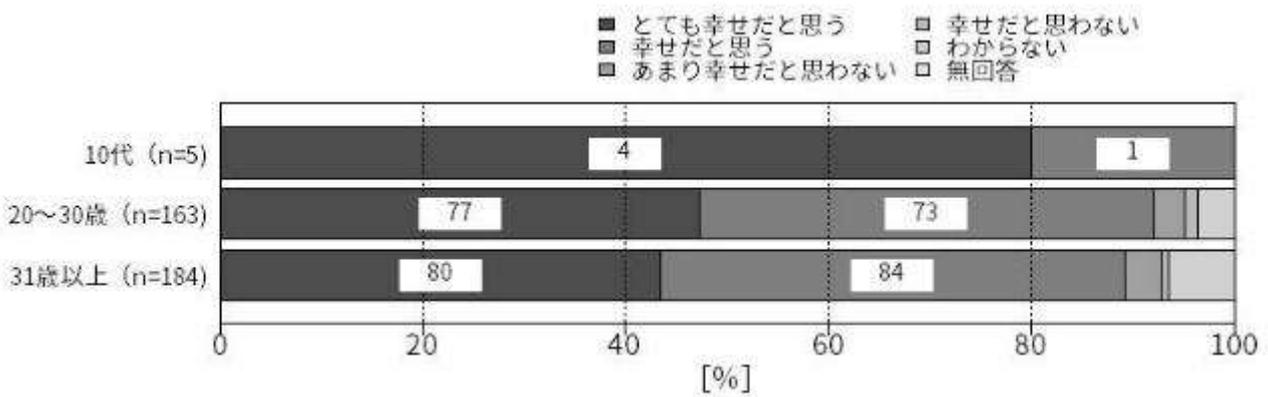


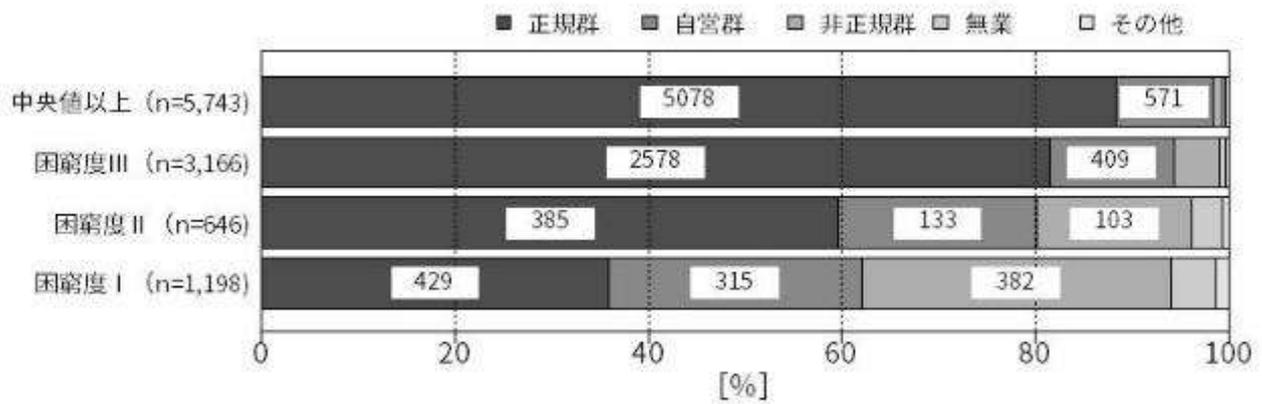
図 108. 初めて親となった年齢別に見た、心の状態（４）幸せだと思う  
 ※母親が回答者の場合に限定

10 代群は少ないため、比較して傾向を述べることはできない。

### 3-2. 雇用

#### 困窮度別に見た、就労状況（問8）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

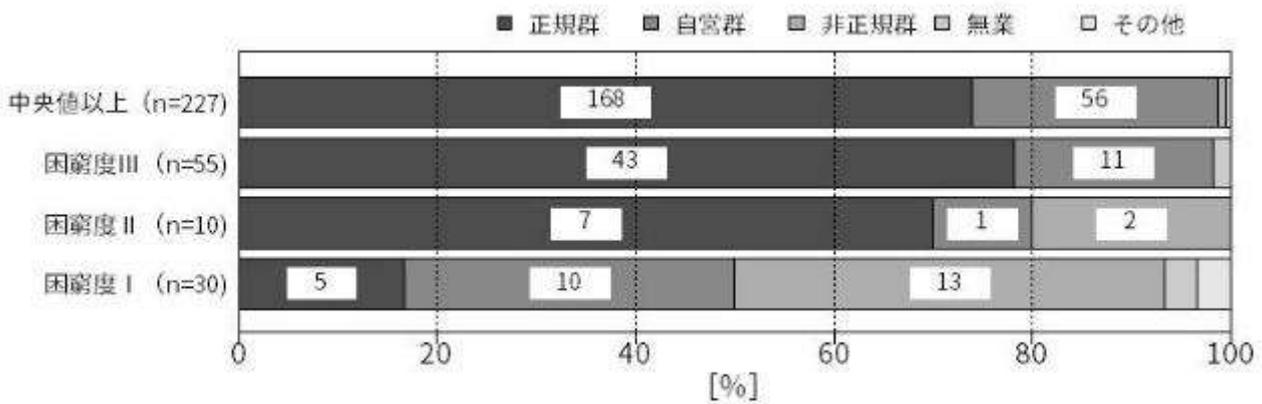


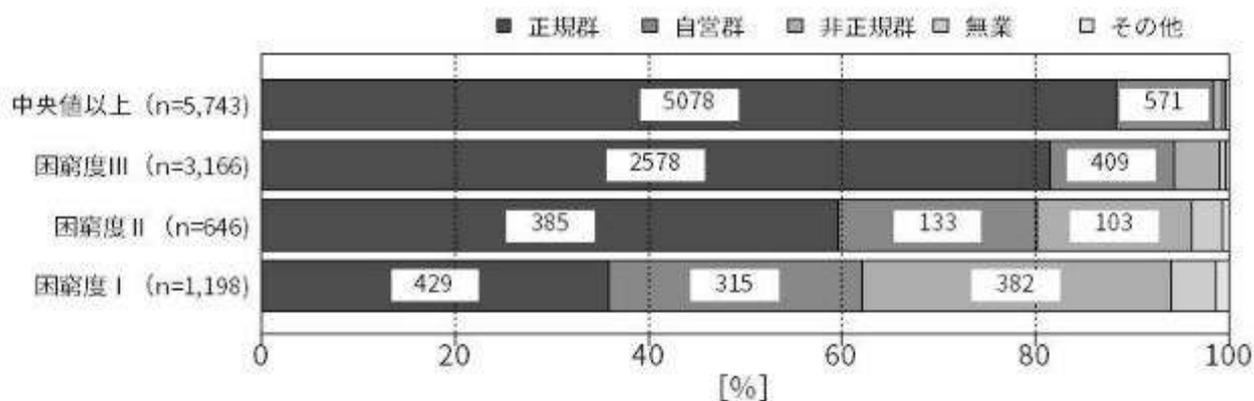
図 109. 困窮度別に見た、就労状況

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が高まるにつれて、正規群の割合が減り、非正規群・自営群の割合が高まる傾向にあった。困窮度Ⅰ群においては、自営群は33.3%、非正規群は43.3%であった。

困窮度別に見た、母親の最終学歴（問 7-母）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

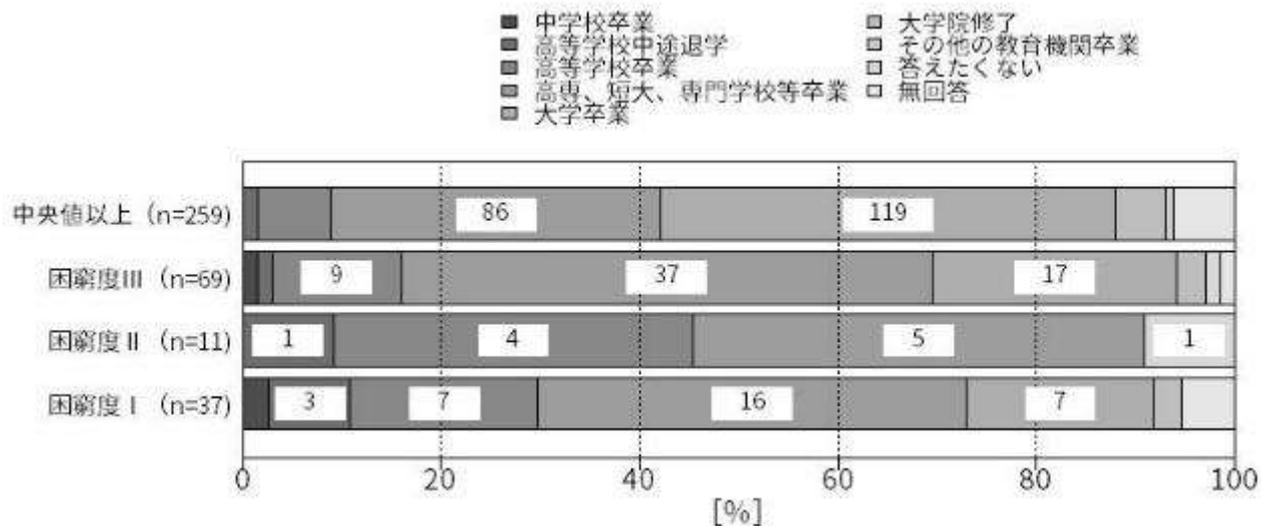


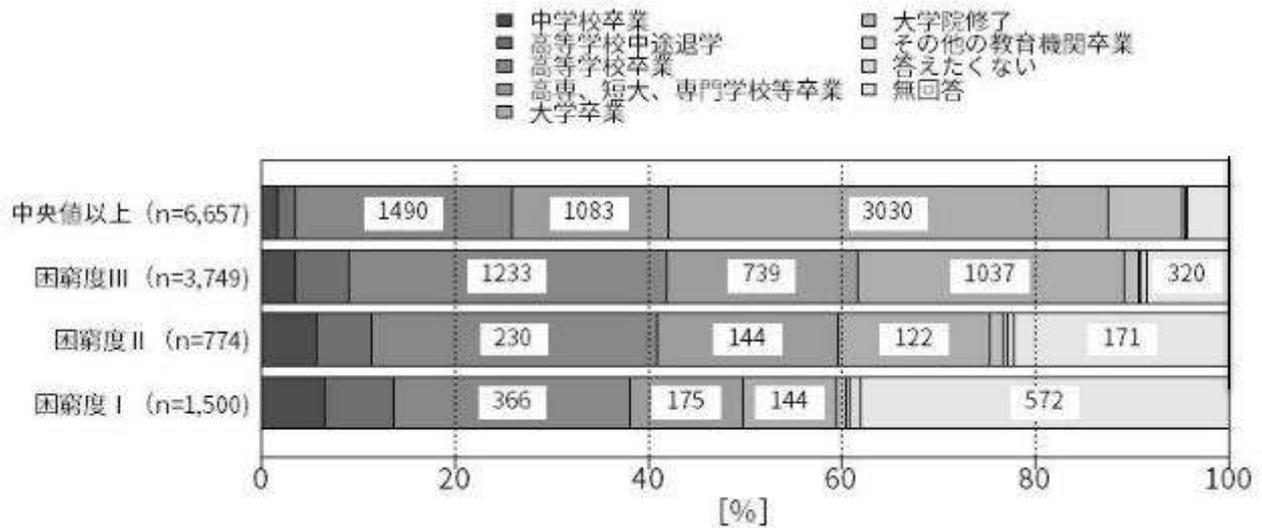
図 110. 困窮度別に見た、母親の最終学歴

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は2.7%、「高等学校中途退学」は8.1%であった。

困窮度別に見た、父親の最終学歴（問 7-父）

<大阪市 24 区>



<大阪市中央区>

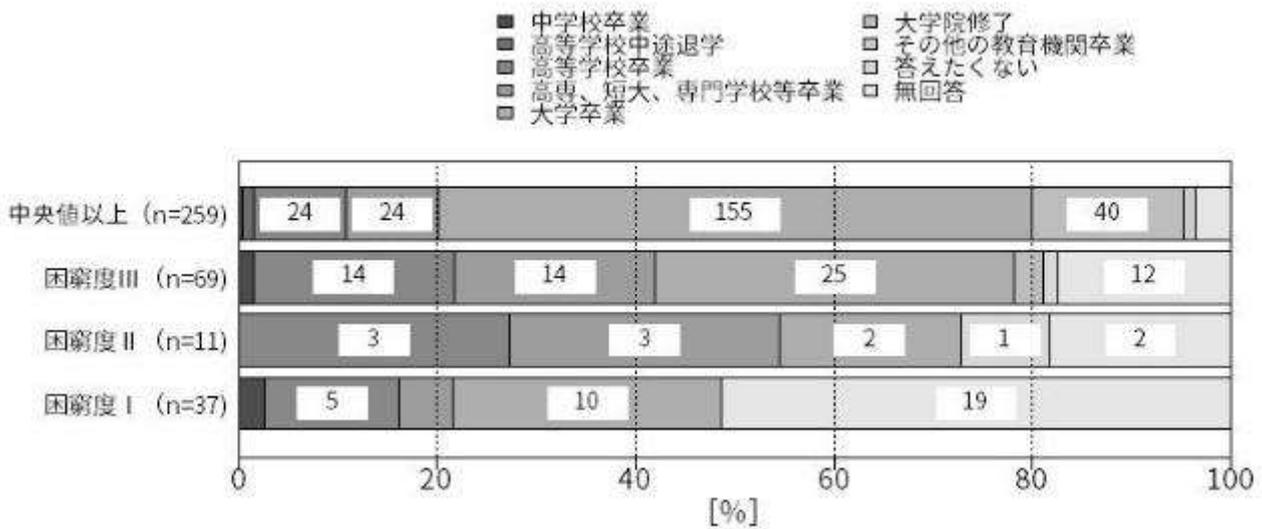


図 111. 困窮度別に見た、父親の最終学歴

困窮度Ⅱ群は人数が少ないため、この群と比較して傾向を述べることはできないため、他の群にのみ着目する。

困窮度が厳しくなるにしたがって、中卒と高校中退の割合が増える傾向にあった。困窮度Ⅰ群で「中学校卒業」は2.7%、「高等学校中途退学」は該当なしであった。